

Sport Fukushima

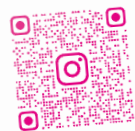
スポーツふくしま

48
2025.3

公益財団法人福島県スポーツ協会
Fukushima Sport Association

(公財)福島県スポーツ協会

〒960-8043 福島市中町8番2号 福島県自治会館6階
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971



@FUKUSHIMA.SPORT.A

みんなでスポーツを!

Let's play sports together!!





「スポーツが生み出す無限の可能性」

公益財団法人福島県スポーツ協会
専務理事 穂本哲哉

皆様には日頃より本県スポーツの推進にご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。本協会では北村会長のもと、事務局職員とともに、本県スポーツ振興のため、微力ではございますが力を尽くしてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

本協会では組織改編がなされた平成8年度から「競技力の向上」「生涯スポーツの推進」の二大目標を掲げ、加盟競技団体、各関係組織・団体等と連携し、スポーツ事業の推進に努めております。

「競技力の向上」の指標となる国民スポーツ大会では、第78回大会から名称が「体育」から「スポーツ」へと変わり、その象徴的な取組として、開会式における各県選手団のパレードのような入場、メインスタンド前でのパフォーマンスが行われ、本県選手団は「チャレンジふくしま」のかけ声、選手の後方宙返りというパフォーマンスで会場を盛り上げました。第78回大会における本県の総合成績は、競技得点401.5点、天皇杯順位37位と、当初の目標には届きませんでしたが、3大会ぶりに30位台の成績となりました。ウエイトリフティングをはじめとする個人競技での堅実な得点の積み上げに加え、軟式野球の県勢29年ぶりとなる優勝、弓道成年男子の優勝と団体競技での躍進により、今大会の順位上昇につながりました。

そしてもう一方の「生涯スポーツの推進」では、「県民の誰もが、豊かなスポーツライフを創造できる『生涯スポーツ社会の実現』をめざして、各関係組織・団体と連携し、生涯スポーツ事業の推進に努める」という目標の実現に向けて各種事業を実施しております。現在、学校における運動部活動の課題をはじめとする地域のスポーツ活動をどう推進していくか、登録・認証制度がスタートした総合型地域スポーツクラブをどう充実させていくか等、難しい課題

が山積しておりますが、地域の実態把握に努め、公認スポーツ指導者の養成および総合型地域スポーツクラブの体制整備・活動の充実に向け、より効果的な事業の展開に努めてまいります。

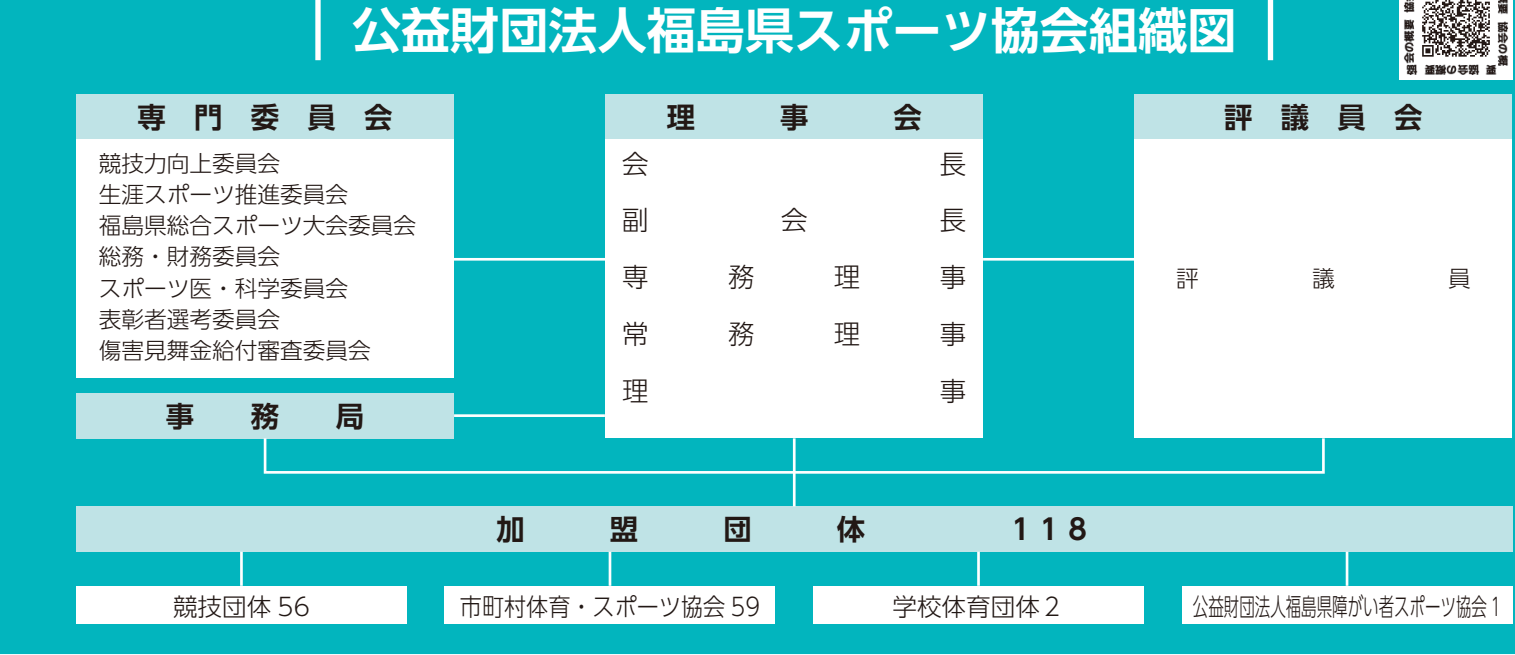
2024年、パリで開催されたオリンピック、パラリンピックにおいて本県出身・ゆかりのアスリートが、オリンピックに17名、パラリンピックに6名出場を果たしました。オリンピックではバドミントン競技混合ダブルスに出場した渡辺勇大選手・東野有紗選手が前回大会に続き銅メダル、パラリンピックでは車いすラグビー競技に出場した橋本勝也選手が金メダル、柔道競技女子48kg級に出場した半谷静香選手が銀メダル、ボッチャ競技に出場した遠藤裕美選手が女子個人と混合団体において2つの銅メダルを獲得し、県民に明るい話題、感動と勇気を届けてくださいました。

現代社会においてスポーツは、単なる競技や運動を超えた広がりを見せ、健康の維持・増進、地域コミュニティの活性化など、多様な形で貢献しています。また、スポーツを通じ、子どもから大人まで公平性、努力、尊重といった価値観が育まれ、多くの人々に好影響を提供してくれます。

私たちスポーツ協会は、このようなスポーツの価値を未来へとつなげる役割を担っており、選手や指導者の支援はもちろんのこと、スポーツを楽しむすべての人々がその恩恵を受けられる環境を整え、さらなる発展を目指します。この「スポーツふくしま」を通じて、スポーツに関わる皆様とともに、その魅力や意義を改めて見つめ直し、共有する機会を得られれば幸いです。そして、私たちの活動が、より多くの笑顔と感動を生み出す一助となることを願っています。スポーツの力を信じ、ともに未来を切り拓いていきましょう。

目次		
協会の概要		
P1 巻頭言	P16 福島県・京都府 2024 青少年交流事業	P24 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格関連情報
P2 令和6年度事業概要	P17 福島県スポーツ協会 表彰式	P25 認定スポーツ栄養士養成・スキルアップ講習会
P3 令和6年度組織概要	生涯スポーツ～スポーツの振興に関する事業～	P26 認定アスレティックトレーナー養成講習会
競技スポーツ～選手の育成・強化に関する事業～	P19 子ども運動啓発事業	P27 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業
P5 第78回国民スポーツ大会 関連情報	P20 スポーツ医事・トレーニング相談事業／アンチ・ドーピング教育・啓発事業	P30 広域スポーツセンター事業
P11 第79回国民スポーツ大会冬季大会 関連情報	P21 指導者養成・研修に関する事業（日本スポーツ協会公認コーチ1・コーチ2養成講習会）	P31 福島県スポーツ少年団事業
P13 ふくしまスポーツキッズ発掘事業	P23 指導者養成・研修に関する事業（福島県スポーツ指導者研修会＜更新研修会＞）	インフォメーション
P14 スポーツふくしまビルドアッププロジェクト		P33 チャリティ事業
P15 ふくしまゴルフプロジェクト		P34 賛助会員

表紙写真説明
上段左：表彰謝辞 バドミントン競技 大堀彩選手
中段左：軟式野球 相双リテックの選手たち
下段中央：福島県スポーツ指導者研修会
上段中央：バレーボールコーチ1養成講習会
中段右：福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会・交流会事業
下段右：福島県・京都府 2024 青少年交流事業
上段右：親子体操教室
下段左：ふくしまスポーツキッズ発掘事業「体験プログラム」



競技団体

1 (一財)福島陸上競技協会	31 福島県銃剣道連盟
2 福島県野球連盟	32 福島県クレール射撃協会
3 福島県ソフトテニス連盟	33 福島県セーリング連盟
4 福島県テニス協会	34 福島県空手道連盟
5 (一財)福島県サッカー協会	35 福島県アーチェリー協会
6 福島県ハンドボール協会	36 福島県なぎなた連盟
7 (一社)福島県卓球協会	37 福島県アイスホッケー連盟
8 福島県剣道連盟	38 福島県ボウリング連盟
9 福島県ローイング協会	39 福島県ゴルフ連盟
10 (一社)福島県水泳連盟	40 福島県カヌー協会
11 福島県自転車競技連盟	41 福島県ゲートボール協会
12 福島県ホッケー協会	42 福島県少林寺拳法連盟
13 福島県相撲連盟	43 福島県オリエンテーリング協会
14 福島県ライフル射撃協会	44 福島県パワーリフティング協会
15 (一社)福島県バスケットボール協会	45 福島県ダンススポーツ連盟
16 福島県バドミントン協会	46 福島県武術太極拳連盟
17 福島県ボクシング連盟	47 福島県綱引連盟
18 福島県柔道連盟	48 (一社)福島県トライアスロン協会
19 福島県弓道連盟	49 JABA福島県野球協会
20 福島県ラグビーフットボール協会	50 福島県テコンドー協会
21 福島県体操協会	51 福島県バウンドテニス協会
22 福島県スキー連盟	52 福島県スポーツチャンバラ協会
23 福島県スケート連盟	53 福島県インディアアカ協会
24 福島県馬術連盟	54 福島県バールルームダンス連盟
25 福島県ソフトボール協会	55 福島県エアロビク連盟
26 福島県バレーボール協会	
27 福島県ウエイトリフティング協会	
28 福島県レスリング協会	
29 福島県フェンシング協会	
30 福島県山岳・スポーツクライミング連盟	

令和6・7年度公益財団法人福島県スポーツ協会役員名簿

No.	役職名	氏 名	選 任 区 分	備 考
	名 誉 会 長	内 堀 雅 雄		福島県知事
	顧 問	宗 形 守 敏		前福島県体育協会会長
	顧 問	須 佐 喜 夫		前福島県スポーツ協会会長
1	会 長	北 村 清 士		(株)東邦銀行顧問
2	副 会 長	片 平 俊 夫	加盟競技団体	福島陸上競技協会名誉顧問
3	副 会 長	安 藤 喜 勝	地域連合	県中地域連合会
4	副 会 長	渡 邊 亮	学校体育団体	福島県高等学校体育連盟会長
5	副 会 長	鈴 木 智	会長推薦	県議会議員代表
6	副 会 長	新 井 田 大	加盟競技団体	福島県ローイング協会会長
7	専 務 理 事	穂 本 哲 哉	会長推薦	県文化スポーツ局スポーツ課長
8	常 務 理 事	壺 岐 ひろみ	加盟競技団体	福島県水泳連盟会長
9	常 務 理 事	長 澤 初 男	加盟競技団体	福島県ソフトボール協会顧問
10	常 務 理 事	高 橋 哲 男	地域連合	会津地域連合会長
11	常 務 理 事	高 橋 吉 市	スポーツ少年団	福島県スポーツ少年団本部長
12	常 務 理 事	青 柳 茂 宏	学校体育団体	福島県中学校体育連盟会長
13	常 務 理 事	佐 藤 靖 弘	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会幹事長
13	理 事	高 橋 雅 行	加盟競技団体	福島県ハンドボール協会名誉顧問
14	理 事	齊 藤 一 美	加盟競技団体	福島県卓球協会会長

任期：令和5年度定時評議員会終結から令和7年度定時評議員会終結まで

市町村団体

1 福島市スポーツ協会	31 公益財団法人喜多方市体育協会
2 二本松市スポーツ協会	32 北塩原村スポーツ協会
3 伊達市スポーツ協会	33 西会津町体育協会
4 桑折町スポーツ協会	34 磐梯町スポーツ協会
5 国見町体育協会	35 猪苗代町スポーツ協会
6 川俣町スポーツ協会	36 会津坂下町スポーツ協会
7 大玉村スポーツ協会	37 湯川村スポーツ協会
8 本宮市スポーツ協会	38 柳津町体育協会
9 郡山市体育協会	39 三島町スポーツ協会
10 須賀川市体育協会	40 金山町スポーツ協会
11 田村市体育協会	41 昭和村体育協会
12 鏡石町体育協会	42 会津美里町体育協会
13 天栄村体育協会	43 南会津町スポーツ協会
14 石川町体育協会	44 下郷町スポーツ協会
15 玉川村スポーツ協会	45 檜枝岐村体育協会
16 平田村体育協会	46 只見町スポーツ協会
17 浅川町体育協会	47 相馬市スポーツ協会
18 古殿町スポーツ協会	48 南相馬市スポーツ協会
19 三春町体育協会	49 広野町体育協会(NPO法人広野みかんクラブ)
20 小野町体育協会	50 一般社団法人榊葉町スポーツ協会
21 特定非営利活動法人白河市スポーツ協会	51 富岡町教育委員会(富岡町体育協会)
22 西郷村スポーツ協会	52 川内村体育協会
23 泉崎村スポーツ協会	53 大熊町体育協会
24 中島村体育協会	54 双葉町体育協会
25 矢吹町スポーツ協会	55 浪江町スポーツ協会
26 棚倉町スポーツ協会	56 葛尾村体育協会
27 矢祭町スポーツ協会	57 新地町スポーツ協会
28 塙町スポーツ協会	58 いいたてスポーツクラブ(飯館村体育協会)
29 鮫川村スポーツ協会	59 いわき市体育協会
30 会津若松市スポーツ協会	

令和6年6月14日現在

No.	役職名	氏 名	選 任 区 分	備 考
15	理 事	松 本 代志博	加盟競技団体	福島県弓道連盟会長
16	理 事	佐 藤 英 壽	加盟競技団体	福島県スケート連盟会長
17	理 事	菊 地 俊 美	加盟競技団体	福島県ウエイトリフティング協会会長
18	理 事	三 島 弘 司	地域連合	県北地域連合会副会長
19	理 事	三 森 一 男	地域連合	県南市町村スポーツ協会連合会長
20	理 事	貝 田 美 郎	地域連合	南会津地域連合会スポーツ協会会長
21	理 事	林 浩 徳	地域連合	相双地域連合会長
22	理 事	廣 瀬 敬 彦	地域連合	いわき市体育協会会長
23	理 事	長 岐 博	会長推薦	福島県スポーツ推進審議会議長
24	理 事	堀 川 哲 男	会長推薦	公立藤田総合病院名誉院長
25	理 事	高 野 光 二	会長推薦	県議会議員代表
26	理 事	安 部 泰 男	会長推薦	県議会議員代表
27	理 事	吉 田 真希子	会長推薦	(株)東邦銀行陸上競技部監督
28	理 事	安 彦 元 気	会長推薦	あびこ法律事務所弁護士
29	監 事	渡 邊 幹 夫	加盟競技団体	福島陸上競技協会監事
30	監 事	佐 藤 弘 樹	加盟競技団体	福島県ラグビーフットボール協会副会長
31	監 事	末 永 敏 則	加盟競技団体	福島県水泳連盟

No.	加盟団体	評議員名
1	陸上競技	鈴木浩一
2	軟式野球	橋本隆一
3	ソフテニス	小野間幸一
4	テニス	岩永尚士
5	サッカー	青田由広
6	ハンドボール	石田智宏
7	卓球	五十嵐修二
8	剣道	武藤士津夫
9	ローイング	阿久津光俊
10	水泳	泳田中潔
11	自転車競技	班目真紀夫
12	ホッケー	遠藤浩太郎
13	相撲	黒沢利夫
14	ライフル射撃	菅野益征
15	バスケットボール	安斎司
16	バドミントン	渡辺正光
17	ボクシング	藍原浩
18	柔道	佐川勝人

※任期は令和3年度の定時評議員会終結から令和7年度定時評議員会終結まで

No.	加盟団体	評議員名
19	弓道	高井幸子
20	ラグビーフットボール	紺野宗作
21	体操	鈴木聖也
22	スキー	阿部和博
23	スケート	阿部良
24	馬術	坂本邦雄
25	ソフトラボール	大野正美
26	バレーボール	渡邊秀雄
27	ウエイトリフティング	高野滋
28	レスリング	中里充
29	フエンシング	秦秀行
30	山岳・スポーツクライミング	平子吉政
31	銃剣道	佐藤亨
32	クレール射撃	相川登志夫
33	セーリング	保科昇
34	空手道	松原光
35	アーチェリー	渡邊正仁
36	なぎなた	矢澤良伸

No.	加盟団体	評議員名
37	アイスホッケー	水野英暢
38	ボウリング	伊藤寛
39	ゴルフ	原通雄
40	カヌー	遊佐久男
41	ゲートボール	佐藤一八
42	少林寺拳法	鈴木賢一
43	オリエンテーリング	加藤一郎
44	パワーリフティング	金澤巧
45	ダンススポーツ	野地康雄
46	武術太極拳	石澤久芳
47	綱引	安斎一二
48	トライアスロン	三浦光雄
49	グラウンド・ゴルフ	岩間裕子
50	野球	東城一弘
51	テコンドー	武田健
52	バウンドテニス	千田良
53	スポーツチャンバラ	堀田満
54	インディアカ	沼沢行晴

	事業名	月日	人数等	会場	内容
1	スポーツふくしまビルドアッププロジェクト	通年	①38競技 ②3競技6種別 ③10競技 ④36チーム ⑤ネクストアスリート16名 ⑥リーディングコーチ13名 ⑦3競技 ⑧2競技	県内・県外各地	国スポ等で上位入賞できる県内競技団体の「強化」に加え、キッズ・ジュニア世代の重点的な「育成」、潜在能力が高く将来性のある選手の「発掘」に取り組み、「発掘・育成・強化」の一體的な推進による持続的な本県スポーツ競技力の向上を図る ①国スポ強化支援事業 ・国スポ上位入賞に向けた強化練習会、合宿等の開催 ・国スポ入賞、ブロック大会突破に向けた強化練習会、合宿等の開催 ②リアライズスポーツ強化指定事業 ・東京2020オリンピックを通じて本県との関わりが深く、競技力向上に資することが期待される団体種目の少年種別を指定し更なる強化を図る ③拠点スポーツサポート事業 ・競技人口減少等の課題を有する競技団体にに対し、強化拠点地域内のキッズ・ジュニア選手の活動を集中的に支援し競技の裾野拡大と底上げを図る ④ジュニアアスリート強化指定事業 ・震災の影響等により競技の低迷が課題となっている少年種別の競技力向上のため、競技種目ごとに中心的な役割を果たす中学校・高等学校、クラブチーム、ジュニア選手に対して活動を支援する ⑤ネクストアスリート支援事業 ・日本代表入りをし、国際的な大会等での活躍を目指す若手アスリートに対し、JOCや中央競技団体が実施する強化練習会に要する費用等を支援する ⑥リーディングコーチ養成事業 ・競技力向上とスポーツインシグリティに係る研修会を実施し、競技団体の持続可能な強化体制を推進していく上で、準引役となる指導者を養成する ⑦冬季国スポ強化支援事業 ・冬季3競技において国スポ等での入賞を目指し、競技団体がアドバイザーコーチやロールモデルコーチを招聘し強化練習会等実施に要する費用を支援する ⑧ふくしまシャイニングスタープロジェクト ・オリンピック出場選手輩出実績のある競技の体力テストや適性テスト等を行い、将来性があるアスリートを発掘するとともに、競技開始と定着を支援する
2	強化合宿事業への指導・助言	通年	41競技	県内各地	競技団体の開催する強化合宿等への指導激励訪問を実施
3	ふくしまゴルフプロジェクト	通年	競技指導者・競技者	県内	一般社団法人日本女子プロゴルフ協会から講師を招聘し、県内ゴルフ人口の裾野拡大と指導者の育成及び競技力の向上を目的とした「ふくしまゴルフ人材育成事業」を実施

	事業名	月日	人数等	会場	内容
1	体育・スポーツ団体調整会議	R6.5.8	41競技強化担当者等81名	福島市	各競技団体の強化担当者や事務担当者とは各種競技力向上事業について連絡調整を図り、共通理解のもと一層効率的な強化事業の推進に努めるための会議の開催
2	強化対策会議のヒアリング	R6.12～R7.3	41競技強化担当者83名	福島市	令和6年度強化事業の反省と第79回国民スポーツ大会(冬季競技については80回大会)に向けた競技力の現状分析と対応策についての会議の開催

区分	事業名	月日	人数等	会場	内容
国内交流	全国スポーツ少年大会	7月27日～30日	3名	秋田県	スポーツ少年団員の交流やスポーツ大会を通して、青少年のからだところを育み、健全育成に努めるための各種交流大会並びに競技別交流大会
	東北ブロックスポーツ少年大会	8月16日～18日	3名	山形県	
	福島県スポーツ少年大会	1月25日～26日	50名	福島県	
	福島県総合スポーツ大会スポーツ少年団体育大会	6月2日	18競技	県内各地	
	全国スポーツ少年団軟式野球交流大会福島県大会	6月15・16・22日	16チーム	いわき市	
	全国スポーツ少年団軟式野球交流大会東北Ⅱブロック予選大会	7月6日	2チーム	会津若松市	
	東北ブロックスポーツ少年団ミニバスケットボール交歓大会	2月22・23日女子3月1・2日男子	4チーム	秋田県	
	東北地区サッカースポーツ少年団交流大会	7月14日～15日	2チーム	山形県	
	東北ブロックスポーツ少年団柔道交流大会	12月7日～8日	4チーム	宮城県	
	全国スポーツ少年団剣道交流大会	8月1～4日	1チーム	鳥取県	
交国際	全国スポーツ少年団ホッケー交流大会	9月14日～16日	不参加	東京都	ドイツユエグントの受入れとドイツの派遣を通して、親善を深めるとともに、国際的な視野に富んだ若者の育成
	JFA全日本U-12サッカー選手権大会(日スポ少共催)	12月26日～29日	1チーム	鹿児島県	
	全国スポーツ少年団剣道交流大会	3月28日～30日	1チーム	大分県	
	全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	12月27日～30日	1チーム	愛媛県	
	日独スポーツ少年団同時交流【受入】	なし	名		
	日独スポーツ少年団同時交流【派遣】	7月31日～8月15日	2名	ドイツ	
	ジュニア・リーダースクール(県内6会場)	8月～1月	180名	各支部	
	日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール	8月8日～11日	2名	静岡県	
	スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会(集合講習・グループワーク)1コース	10月19日(8・9月eラーニング)	150名	オンライン集合・ユラックス	
	スタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会オンライングループワーク2コース	2月1日(11・12月eラーニング)	150名	オンライン	
リサーチ会	福島県育成母集団研修会	調整中	30名	相双支部	指導者の資質の向上や母集団の育成・組織強化のための研修会
	東北ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	調整中	5名	岩手県	
	スポーツ少年団指導者更新研修会	調整中	180名	県内各支部	
	福島県スポーツ少年団リーダー会定例会(4回)	5月～3月	15名	郡山市	
	全国スポーツ少年団リーダー連絡会	11月10日	2名	東京都オンライン	
	北海道・東北ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会	10月12日～14日	5名	秋田県	
	福島県スポーツ少年団指導者協議会運営委員会2回	4月25日/2月13日	各30名	福島市	
	福島県スポーツ少年団 常任委員会2回 評議員会2回	5月16日/2月17日	各80名	福島市	
	福島県スポーツ少年団表彰2回・派遣選考委員会1回	5月/10月/2月	各8名	福島市	
	福島県スポーツ少年団表彰式、日本スポーツ少年団顕彰伝達式	12月6日	60名	福島市	
会議研修式典広報	東北ブロックスポーツ少年団会議(連絡協議会2回、北海道・東北ブロック1回)	5月/2月	4名	岩手県	リーダーク会員の交流や研修のために、県やブロックでの研修会
	日本スポーツ少年団会議(委員総会2回、指導者協議会1回、事務担当者会1回)	5月/2月	各1名	東京都(オンライン併用)	
	福島県スポーツ少年団広報誌【本部報第49号】の発行	3月下旬	2,000部		

	事業名	月日	人数等	会場	内容
広域スポーツセンター事業					
1	市町村等訪問	随時	10市町村	県内各地	市町村を訪問し、現存する総合型クラブの体制強化を図る設立市町村を訪問し、クラブ育成の理解促進を図る
2	公認アシスタントマネージャ養成講習会	R6.8.24～25	13人	福島市	総合型クラブのマネジメントの中核を担うクラブマネジャーの養成
3	クラブアドバイザー配置事業	通年	1人	県内各地	県内の総合型クラブに対し、専門知識や経験を活かした直接的な支援をするクラブアドバイザーを配置する
4	情報提供事業	随時	77クラブ	県内・県外各地	総合型クラブに関する各種情報を発信
5	エリナーコーディネーター派遣事業	随時	6人	県内各地	各市町村および県内の総合型クラブに対し、クラブの創設から自立・活動までを一體的にアドバイスできるエリアコーディネーターを派遣し、設立支援や運営充実のための指導・助言や情報提供を行うエリアコーディネーター同士のネットワークを構築するとともに、エリアコーディネーター相互のスキル向上を図りながら県内のクラブの更なる活動充実を推進する
6	地域スポーツ課題解決・環境整備支援事業	随時	56人	県内各地	県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会に所属する総合型クラブでの指導を承諾した総合型クラブ及び競技団体所属の指導者に対し、公益財団法人日本スポーツ協会公認資格取得または更新のための経費を補助する

福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会事業						
1	総 会	R 6.5	34人	福島市	総会の開催	
2	常 任 幹 事 会	R 6.5.14 R 7.1.24	各15人	福島市	常任幹事会の開催	
3	専 門 部 会	年5回	15人	県内各地	研修会や交流会の企画運営、広報資料の作成企画等について検討	
4	研 修 会 ・ 交 流 会	随時	研修会 25人 交流会 42人	県内各地	クラブ運営強化及び関係者の資質向上を目的とした研修会や、クラブ間の情報交換や交流の促進を図ることを目的とした交流会の開催	
5	全 国 ・ 東 北 事 業	随時	東北事業 21人 全国事業 3人	県内・ 県外各地	S C 全国ネットワーク総会への出席や関連事業への参加	
6	S C 補 助 事 業	随時	42クラブ	県内各地	県 協 議 会 加 盟 ク ラ ブ が 実 施 す る 事 業 等 に 対 し、 事 業 費 ・ 運 営 費 を 補 助 県内7地区の地区協議会が開催する、会議、研修会、交流会をはじめとする事業費・運営費を補助	
7	ク ラ ブ 支 援 事 業	随時	42クラブ	県内各地	総合型クラブへの指導・助言等の相談窓口の設置(委託)による総合型クラブ組織のネットワークの充実・強化を図る	
8	人 材 育 成 事 業	随時	3 人	県内各地	県内各地区連絡協議会の中核を担う人材を育成するため、公益財団法人日本スポーツ協会公認クラブマネジャー資格取得を支援する	
9	広 報 啓 発 事 業	随時	42クラブ	県内・ 県外各地	広報誌やホームページによる情報発信	
10	登 録 ・ 認 証 制 度 の 運 用	随時	10人	県内各地	総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用 登録審査委員会の開催(登録申請書の書面審査、実地審査)	

公益財団法人福島県スポーツ協会は、競技力の向上と生涯スポーツの推進を二大目標として掲げ、公益財団法人日本スポーツ協会や県・市町村及び加盟団体と連携を図りながら各種事業を推進し、「スポーツに強いふくしま」の確立に努める。

1 競技力の向上

公益財団法人福島県スポーツ協会は「スポーツに強いふくしま」の確立を図るため、加盟競技団体、福島県中学校体育連盟、福島県高等学校体育連盟等との連携をより密接なものとし、競技力向上に向けた各種強化事業を積極的に推進する。

2 生涯スポーツの推進

県民の誰もが、豊かなスポーツライフを創造できる「生涯スポーツ社会の実現」をめざして、各関係組織・団体と連携し、生涯スポーツ事業の推進に努める。

基本方針

事業内容

1 スポーツ振興事業（公益目的事業1）

	事業名	月日	人数等	会場	内容
1	双葉地区教育構想支援事業(専任コーチ派遣)	通年	－	ふたば未来学園高等学校・中学校・中学校	双葉地区未来創造型リーダー育成構想に関し、バドミントン競技、レスリング競技におけるトップレベルの専任コーチを派遣し優秀な選手育成に資する。
2	アンチ・ドーピング教育・啓発事業	通年	41競技	県内各地	アンチ・ドーピング(ドーピング防止)徹底のため、講習会開催や情報提供活動等を実施し、健全なスポーツ活動の推進を図る。
3	子ども運動会啓発事業	R6.9.21	80名	小野町	親子で行う体操や運動を通して、幼児期における子どもたちの運動への関心や意欲を高めるとともに、幼児教育に携わる指導者の指導力向上を図る。
4	スポーツ医事・トレーニング相談事業	通年	63回	県内各地	スポーツ愛好者や選手のけが・病気等に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図るための講師の派遣等を行う。
5	スポーツ情報提供事業	通年	全県民対象	－	生涯スポーツに関する情報の収集や整理を行い、情報を発信するためのホームページ、Instagramの運営と広報誌「Sport Fukushima」、メルマガジン「福スポ協ニュース」の発行
6	福島県スポーツ指導者研修会(更新研修会)	R6.9.1R6.11.24	各回～300名	郡山市	指導者の資質向上と地域におけるスポーツ活動の活性化を図るための研修会の実施
7	J S P O 公認コーチ1・2養成講習会	R6.6～R7.1	125名	県内各地	クラブ等において、対象に合わせた指導のできる競技別指導者を養成するための講習会の開催
8	ふくしまスポーツキッズ発掘事業	通年	19競技	県内各地	小学生・中学生を対象とした、スポーツとふれあう機会の拡充と未来のふくしまのスポーツを担う人材の発掘・育成
9	顕彰事業の実施(表彰式)	R7.1.10	出席者数165名	福島市	スポーツ功労賞、優秀選手賞(個人・団体)、優秀指導者賞、社会体育優良団体賞、特別賞に対する表彰

	事業名	月日	人数等	会場	内容
10	市町村体育大会開催事業	通年	市町村体育・スポーツ協会	県内各地	市町村体育・スポーツ協会が実施する体育大会に対して経費を一部助成
11	自転車競技場の運営	通年	－	泉崎村	泉崎国際サイクルスタジアムを泉崎村に無償貸与し管理運営を委託
12	福島県総合スポーツ大会の開催	R6.4～R7.1	①52競技 ②7競技 ③18競技	県内各地	①第51回東北総合スポーツ大会・第78回国民スポーツ大会の選手選考会等 ＊メイン開催 R6.7.13(土)～7.15(月) ＊冬季競技は、第79回国民スポーツ大会の選手選考会等 ②地域スポーツ大会(地域連合会) ③スポーツ少年団大会
13	東北総合スポーツ大会への派遣	R6.6～R6.12主会期(8.23～8.25)	37競技	秋田県内各地青森県西目黒市岩手県花巻市山形県西川町	令和6年度国民スポーツ大会東北ブロック大会兼 第51回東北総合スポーツ大会
14	国民スポーツ大会への派遣	R6.9.5～R7.2.16	38競技	群馬県渋川市岡山県岡山市倉敷市秋田県鹿角市	第78回国民スポーツ大会(SAGA2024)※会期前実施競技 R6.9.5(木)～9.17(火) 9.21(土)～10.1(火) ※本大会 R6.10.5(土)～10.15(火) 第79回国民スポーツ大会 R7.1.26(日)～2.5(水) ・スケート競技(スピード)群馬県渋川市 ・スケート競技(ショート、フィギュア)岡山県岡山市・アイスホッケー競技 岡山県岡山市、倉敷市 第79回国民スポーツ大会 R7.2.13(木)～2.16(日) ・スキー競技 秋田県鹿角市



福島民報社提供

第78回国民スポーツ大会成績

① 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート競技会 アイスホッケー競技会	R 6. 1/28(日) ～2/ 3(土)	北海道市 苫小牧市	佐藤英壽	2	10	3	27	40
	スキー競技会	R 6. 2/21(水) ～2/24(土)	山形県市 山形市 最上郡市	阿部和博	1	10	3	31	44
本大会		R6.10/ 5(土)～10/15(火) 会期前競技： 9/ 5(木)～17(火) 9/21(土)～10/ 1(火)	佐賀県市 佐賀市 他	北村清士	35	18	67	364	449

② 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
スケート競技会		3点	10点	13点	26位	3点	10点	13点	22位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10点	11位	—	—	—	—
スキー競技会		2点	10点	12点	23位	2点	10点	12点	15位
本大会		396.5点	370点	766.5点	33位	87.5点	320点	407.5点	44位
合計		401.5点	400点	801.5点	37位	92.5点	340点	432.5点	43位



③ 入賞状況

(1) 冬季大会

●スケート競技 競技得点 3点 天皇杯 26位 皇后杯 22位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	スピード 2000mR	6	3	木田綾音	陸上自衛隊
				秋山光希	安積第二小学校(教)
				安田彩夏	八戸学院大学 4年
				清水凜	早稲田大学 3年

●スキー競技 競技得点 2点 天皇杯 23位 皇后杯 15位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子B	ジャイアントスラローム	7	2	網代慈子	猪苗代小学校(教)

(2) 本大会

●陸上競技 競技得点 25点 天皇杯 33位 皇后杯 20位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	三段跳	8	1	山下航平	ANA
成年女子	300m	2	7	松本奈菜子	東邦銀行
成年女子	100m	3	6	井戸アビゲイル風果	東邦銀行
成年女子	5000m競歩	6	3	久家すずか	金沢学院大学 1年
少年男子共通	5000m競歩	7	2	大竹雄大	郡山東高等学校 3年
少年男子共通	800m	8	1	梅原俊太	学法石川高等学校 2年
少年男子B	円盤投	7	2	猪狩成正	郡山北工業高等学校 1年
少年女子A	3000m	6	3	湯田和未	学法石川高等学校 2年

●ソフトテニス競技 競技得点 5点 天皇杯 22位 皇后杯 14位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		8	5	小川木乃花	住友ゴム工業株式会社
				清水麻美	住友ゴム工業株式会社
				大和田桃菜	ときわ会常磐病院
				縄田愛実	住友ゴム工業株式会社
				高濱美厘	住友ゴム工業株式会社

●バドミントン競技 競技得点 52.5点 天皇杯 2位 皇后杯 3位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子		2	21	水井ひらり	NTT東日本株式会社
				山北奈緒	NTT東日本株式会社
少年男子		1	24	阿部風花	日本体育大学 4年
				江見友希	ふたば未来学園高等学校 3年
				藤吉珠李	ふたば未来学園高等学校 3年
				増田遥	ふたば未来学園高等学校 1年
少年女子		5	7.5	秋田まな	ふたば未来学園高等学校 3年
				山北真緒	ふたば未来学園高等学校 3年
				大石夢陽	ふたば未来学園高等学校 1年



陸上競技 井戸アビゲイル風果選手



陸上競技 大竹雄大選手、久家すずか選手



ソフトテニス競技 成年女子



バドミントン競技

日本記録に至るまで



私は、佐賀県で開催された第78回国民スポーツ大会にて陸上競技の成年女子300mに出場しました。結果は、2位でしたが、優勝した選手が外国籍だったため36秒93の記録は日本新記録でした。

福島県代表として出場したのは、今大会を含めると3回目でした。優勝を逃し悔しかったですが、自分が出来る精一杯の走りをして、日本記録を更新したことや福島県に貢献できたことは嬉しく思いました。

2024年は、前半シーズンに同じところの怪我を繰り返し、8月に開催されたパリオリンピックに「個人で出場したい」という想いとは裏腹に、試合に出場できず、もどかしいシーズンとなりました。

そこからの2ヶ月半は、怪我の原因である「脚が

流れる動作」をリハビリの段階から修正しました。吉田監督と後半シーズンは大幅な記録更新を目標に掲げ、着々と練習に取り組みました。側で支えてくださった吉田監督や天下谷コーチ、津田トレーナーがどんな時でも前向きな言葉かけで指導してくれました。目標がブレることなく、日々自分と向き合うことができました。

その中で、国民スポーツ大会では「36秒台」を狙っていきました。試合当日の福島県チームは雰囲気も明るく、気持ちよく試合に臨むことができました。その甲斐あって、日本記録を更新できたと思います。今後も、400mでの日本記録更新や世界への挑戦をしていきたいです。

陸上競技〔成年女子 300m〕
東邦銀行 松本 奈菜子

●軟式野球競技 競技得点 64点 天皇杯 1位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年男子		1	64	佐 藤 大 輝	株式会社相双リテック
				渡 邊 貴 大	株式会社相双リテック
				青 山 優 太	株式会社相双リテック
				小 泉 拓	株式会社相双リテック
				佐々木 俊 輔	株式会社相双リテック
				南 口 友 貴	株式会社相双リテック
				北 野 凱 士	株式会社相双リテック
				辻 本 那 智	株式会社相双リテック
				本 田 幸 輝	株式会社相双リテック
				伊 藝 彰 吾	株式会社相双リテック
				竹 田 葵	株式会社相双リテック
				播 磨 雄 大	株式会社相双リテック
				本 間 亮 平	株式会社相双リテック
				木 村 哲 汰	株式会社相双リテック
				寺 田 一 貴	株式会社相双リテック
				成 田 大 輝	株式会社相双リテック

●サッカー競技 競技得点 40点 天皇杯 10位 皇后杯 8位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年女子		5	20	大 槻 美 生	十文字学園女子大学 2年
				大 光 望 結	日本大学 2年
				海老名 美 侑	神奈川大学 1年
				竹 野 那 奈	十文字学園女子大学 1年
				齋 藤 ひばり	尚志高等学校 3年
				三 船 さくら	尚志高等学校 3年
				大須賀 花 和	尚志高等学校 3年
				柳 橋 理 奈	尚志高等学校 3年
				郡 司 玲 奈	尚志高等学校 3年
				長 縄 莉 央	ふたば未来学園高等学校 3年
				森 川 若 葉	尚志高等学校 2年
				徳 丸 凜 音	尚志高等学校 2年
				飯 干 璃 音	尚志高等学校 2年
				齋 藤 佳 歩	尚志高等学校 2年
				菊 池 莉 央	尚志高等学校 2年
				門 井 宏 樹	尚志高等学校 2年
少年男子		5	20	中 村 快 生	尚志高等学校 1年
				星 宗 介	尚志高等学校 1年
				中 村 一 平	尚志高等学校 1年
				星 山 珂 鳳	尚志高等学校 1年
				黒 澤 瑠 璃	尚志高等学校 1年
				若 林 衣武希	尚志高等学校 1年
				齋 藤 浩 司	尚志高等学校 1年
				須 釜 朱 王	尚志高等学校 1年
				瀧 田 悠	尚志高等学校 1年
				寺 島 颯	尚志高等学校 1年
				郡 司 翔 音	尚志高等学校 1年
				奥 村 玲 央	尚志高等学校 1年
				玉 木 聖 椰	尚志高等学校 1年
				新 井 啓一郎	尚志高等学校 1年
				京 増 倫 泰	尚志高等学校 1年



サッカー競技 少年男子



サッカー競技 成年女子



ライフル射撃競技 永田仁一選手



馬術競技

軟式野球競技〔成年男子〕

株式会社 相双リテック 野球部監督 塚本 泰英

振り返りますと創部3年目で高松宮賜杯第60回全日本軟式野球大会(1部)にて準優勝しAクラスに格上げされ、その後天皇賜杯や国民体育大会ではベスト8が最高位という成績でした。今回の国スポ優勝を一つの通過点として、来年は真の日本一の座を目指し、天皇賜杯全日本軟式野球大会での優勝を目標に挑戦を続けて参ります。

今後も、こうして野球を楽しめる環境を与えてくださる方々への感謝の気持ちと謙虚さを忘れず、野球を通して人間性を磨き続けていけるよう、社員一同精進を重ねて参ります。引き続き皆様からの変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

●水泳競技 競技得点 15点 天皇杯 37位 皇后杯 31位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年女子	高飛込	4	5	西 沢 明 歩	小野中学校(教)
成年女子	飛板飛込	7	2	西 沢 明 歩	小野中学校(教)
少年男子B	400m自由形	4	5	國 分 昭 俊	郡山第七中学校 3年
少年男子B	200m個人メドレー	7	2	水 戸 煌 稀	日本大学東北高等学校 1年
少年女子B	100m平泳ぎ	8	1	遠 藤 舞 羽	伊達中学校 3年

●自転車競技 競技得点 32点 天皇杯 15位 皇后杯 39位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
男 子 A	1kmタイムトライアル	4	5	福 地 晶 法	法政大学 4年
男 子 A	ロードレース	7	2	風 間 翔 真	シマノレーシング
男 子 A	ポイント・レース	8	1	風 間 翔 真	シマノレーシング
男 子 B	スプリント	1	8	榊 枝 天 旺	学法石川高等学校 3年
男 子 B	ポイント・レース	1	8	成 田 光 志	学法石川高等学校 2年
男 子 B	ロードレース	1	8	成 田 光 志	学法石川高等学校 2年

●ライフル射撃競技 競技得点 3点 天皇杯 37位 皇后杯 29位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年男子	CFP30	6	3	永 田 仁 一	福島県警察機動隊

●弓道競技 競技得点 24点 天皇杯 17位 皇后 19位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年男子	近的	1	24	天 野 正 祥	株式会社クレハ生産本部いわき事業所
				古 川 航 成	株式会社シンク
				山 口 哲 成	有限会社西内工務店

●馬術競技 競技得点 12点 天皇杯 21位 皇后杯 26位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年男子	スピード&ハンディネス	2	7	秋 葉 大 地	桑折町ホースパーク
成年男子	トップスコア	7	2	秋 葉 大 地	桑折町ホースパーク
少 年	団体障害飛越	6	3	矢 内 玖俐歩	聖光学院高等学校 1年
				中 村 秋	福島東稜高等学校 3年

●バレーボール競技 競技得点 4.5点 天皇杯 26位 皇后杯 20位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
少年男子	ビーチバレーボール	7	4.5	武 田 智 也	相馬高等学校 3年
				佐 藤 瑛 翔	相馬高等学校 2年



水泳競技 西沢明歩選手



水泳競技



自転車競技 成田光志選手



バレーボール競技 少年男子

自転車競技〔男子Bスプリント〕
学校法人石川高等学校 3年 榊枝 天旺

支えてくれた方々への感謝を込めて

私は今回佐賀県で開催された『第78回国民スポーツ大会・自転車競技』に、福島県代表として出場しました。団体種目のチームスプリントでは、同代表の福地・吉田選手らとチームを組み、私は三走を務めました。3人で力を合わせた結果は10位でした。両選手は学法石川高校の先輩で、共に練習を重ねた大切な仲間です。練習方法や日常生活のアドバイスなど、多くのことを教わりました。今回の大会では周囲の期待に応えるつもりで挑みましたので、感謝の気持ちを込めて全力で走り切ったことを嬉しく思います。また個人種目のスプリントでは、全国選抜大会とインターハイに続いて優勝することができました。

会場での大きな声援が背中を押してくれたからです。準決勝で落車し、心が折れそうになった時には、両親の励ましの言葉で再び前を向くことができました。この優勝は、関係者全ての応援によるものであると感じています。

当大会の事前合宿から大会終了までの長期にわたり、福島県強化委員の先生方やチームメイトに私は支えられてきました。優勝で恩返しができることを嬉しく、また誇らしく思います。今後は「世界一」を目指すとともに、福島県のスポーツ界をさらに盛り上げていけるよう努力していきます。引き続き応援よろしくお願いいたします。

初の国スポ・遠的競技予選敗退と近的競技優勝

まずは、今回の国スポを応援して下さいました皆様、本当にありがとうございました。選手一同を代表して、心より感謝申し上げます。国スポの強化錬成会に参加させていただいたのも初めてで、以前参加したときはコロナの関係で国体自体が中止となってしまったので錬成会のみでした。射技や段位、場馴れなど、自分よりも格上な人達と競い合い、県予選。東北予選を経ての初の国スポ出場、落ち着いた今となって思うのは、優勝した喜びも一入でしたが、あと一本というところで予選敗退した

弓道競技〔成年男子〕
有限会社西内工務店 山口 哲成

という内容の方が今回の課題であり、勝って兜の緒を締めよの通り、優勝できたのは、近的競技のみなのです。それだけで満足する様な代表選手達ではありません。次の滋賀では、更なる成績を掴み取る為に、今後の練習・限られた場所や時間の中で今まで以上に研鑽を積みたいと思っています。日本一という肩書きは重く、ただものすごぐ力になり、自分達を高めへと押し上げていくでしょう。ご期待下さい。マイナーな競技ではありますが、今後も応援よろしくお願いします。

●ウエイトリフティング競技 競技得点 76点 天皇杯 5位 皇后杯 22位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年男子	67kg級スナッチ	1	8	近 内 三 孝	株式会社ビックワンアスリート
成年男子	67kg級C&J	1	8	近 内 三 孝	株式会社ビックワンアスリート
成年男子	81kg級スナッチ	1	8	宍 戸 大 輔	BLACK SHIPS
成年男子	81kg級C&J	5	4	宍 戸 大 輔	BLACK SHIPS
成年男子	89kg級スナッチ	2	7	浪 越 晴太郎	日本大学 2年
成年男子	89kg級C&J	4	5	浪 越 晴太郎	日本大学 2年
成年男子	96kg級スナッチ	7	2	山 川 良 太	有限会社石倉新聞店
成年男子	96kg級C&J	7	2	山 川 良 太	有限会社石倉新聞店
少年男子	73kg級スナッチ	5	4	増 子 創 也	福島明成高等学校 3年
少年男子	73kg級C&J	5	4	増 子 創 也	福島明成高等学校 3年
少年男子	89kg級スナッチ	2	7	門 馬 悠太郎	福島工業高等学校 3年
少年男子	89kg級C&J	3	6	門 馬 悠太郎	福島工業高等学校 3年
少年男子	+102kg級スナッチ	3	6	鈴 木 優 人	田村高等学校 2年
少年男子	+102kg級C&J	4	5	鈴 木 優 人	田村高等学校 2年

●レスリング競技 競技得点 15.5点 天皇杯 27位 皇后杯 17位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年男子	グレコローマンスタイル97kg級	3	5.5	今 村 太 陽	泉北小学校(教)
成年男子	グレコローマンスタイル60kg級	5	2.5	榊 颯 太	専修大学 2年
少年男子	グレコローマンスタイル51kg級	5	2.5	下 村 虎太郎	喜多方桐桜高等学校 2年
少年男子	グレコローマンスタイル55kg級	5	2.5	下 村 武 靖	喜多方桐桜高等学校 3年
少年男子	フリースタイル125kg級	5	2.5	山 本 侑 季	喜多方桐桜高等学校 3年

●体操競技 競技得点 4点 天皇杯 25位 皇后杯 22位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
男 子	トランポリン	5	4	菊 地 智 周	保原小学校(教)



ウエイトリフティング競技 門馬悠太郎選手



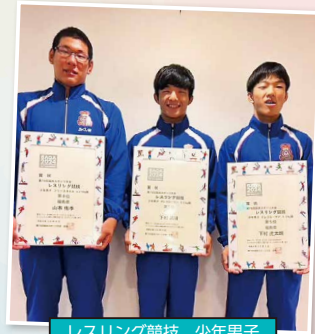
ウエイトリフティング競技 浪越晴太郎選手



ウエイトリフティング競技 穴戸大輔選手



レスリング競技 榊颯太選手



レスリング競技 少年男子



クレイ射撃競技



なぎなた競技 少年女子

●クレイ射撃競技 競技得点 3点 天皇杯 12位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成 年	トラップ	8	3	吉 成 匡 弘 福 田 利 一	株式会社吉成運送店 信越半導体株式会社

●なぎなた競技 競技得点 6点 天皇杯 15位 皇后杯 15位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
少年女子	演技	8	3	筒 井 真 央 佐 野 橘 華	会津学鳳高等学校 3年 会津学鳳高等学校 2年
少年女子	試合	8	3	筒 井 真 央 佐 野 橘 華 今 木 望 心	会津学鳳高等学校 3年 会津学鳳高等学校 2年 会津若松ザベリオン学園高等学校 2年

●ボウリング競技 競技得点 1点 天皇杯 29位 皇后杯 21位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年女子	個人戦	8	1	林 香 織	プライメット株式会社

●カヌー競技 競技得点 14点 天皇杯 34位 皇后杯 33位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年男子	SP K-1 500m	4	5	青 木 瑞 樹	自衛隊体育学校
成年男子	SP K-1 200m	8	1	青 木 瑞 樹	自衛隊体育学校
少年男子	SP K-2 500m	2	7	安 齋 勇 真 青 木 悠 生	安達高等学校 2年 安達高等学校 2年
少年男子	SP K-2 200m	8	1	安 齋 勇 真 青 木 悠 生	安達高等学校 2年 安達高等学校 2年



ボウリング競技 林香織選手



カヌー競技



感謝を込めた演技

トランポリン競技が国体種目になった茨城国体から、今回の佐賀国民スポーツ大会まで、東北地区の代表として4大会の全てに決勝進出と入賞をすることができました。

教職についてからは、東京で過ごした学生の頃にはなかった克服すべき困難が幾つもありました。競技意欲の維持と競技力の低下をどうするかです。仕事との両立については職場の先輩に助けていただきました。

不定期で少なくなった練習時間で成果を積み上げ、体力と体調を維持していくために、出場する大会を大きく絞り込みました。年間のピークを国民スポーツ大会に合わせて一年間をかけて整えるリズムをつくりました。加えて福島県の強化策の一環として、オリンピック選手を招待して練習会を毎年開催することができました。それが連続入賞という成果になったのだと思います。

これまでトランポリンを通してお世話になった素

体操競技(男子トランポリン)
保原小学校 教諭 菊地 智周

晴らしい先生方、頼もしい仲間たちとの出会いとつながりが、苦しい時期を乗り越える原動力となりました。しかし、私が競技の第一線に踏みとどまることができた一番の理由は「いつでも帰ることができる場所」があったからです。それは福島県であり相馬トランポリンクラブであり、そして家族です。

支えてくれた方々への1番の恩返しは、自分が一生懸命にトランポリンに取り組むこととその姿を見せることだと考えました。今年の佐賀国スポを競技人生の集大成として位置づけ練習に取り組み、大会では自分も納得できる演技ができました。学生で出場した茨城大会にも5位に入賞しましたが、今回はより意味のある5位だったと感じています。

最後になりますが、この紙面をお借りして今まで支えてくださった全ての方に深く感謝を申し上げます。今後は指導者として福島県のスポーツ界に貢献できるよう精一杯努力します。

ウエイトリフティング競技(成年男子67kg級スナッチ)
〔成年男子67kg級C&J〕
株式会社ビックワンアスリート 近内 三孝

として国民スポーツ大会でこれまでお世話になった方々に恩返しになるような大会にすることを目標に大会まで練習をしました。大会では福島県代表選手として最高得点を取り、自身の持つ日本記録を更新することができました。クリーン&ジャーク競技ではアップ中に脚を撃るというアクシデントがありましたが、セコンドの方々や会場の声援もあり大会記録を更新することができました。

14年間の競技人生は、福島県の皆様、セコンド、コーチなど沢山の方々に支えていただきました。ありがとうございます。これからはまた別の競技に挑戦しますが、また別の形で恩返しができればと思いますのでこれからも応援よろしく願いします。



有終の美

私は今回、佐賀県で行われた第78回国民スポーツ大会に出場させていただきました。

結果としては67キログラム級でスナッチ競技145kg(日本新記録) 1位・クリーン&ジャーク競技173kg(大会新記録)1位・トータル318kg(日本新記録)1位

合計得点16点という結果でした。今大会を引退試合にすると決めて臨んだ大会だったので記録、得点ともに良い結果を残すことができて良かったです。

2024年4月にパリオリンピック最終予選が終わり結果としてオリンピックの出場権を獲得することができませんでした。東京オリンピックでメダル獲得を逃し、パリオリンピックでのメダル獲得を目標に練習を積み重ねていたので、次の目標を決められず国民スポーツ大会の1ヶ月前まで競技を離れていました。

しかし、競技引退を考えるようになり最後の大会

SAGA国民スポーツ大会を終えて

今回、佐賀県で開催された「第78回国民スポーツ大会」に福島県の代表として参加させていただきました。私は、国体出場は今回で3回目となりました。高校1年生の頃から代表として出場させていただき、今回は福島県選手団代表である旗手に選んでいただきました。旗手というものは人生で1回やれるかやれないかのすごく貴重な体験だったので関係者の皆様にはとても感謝しております。旗手として総合開会式に参加させてもらい、一生の思い出になりました。

今回の国スポの結果はグレコローマン55kgで5位という、自分としては不甲斐ない結果に終わってし

レスリング競技(少年男子55キロ級グレコローマン)
喜多方桐桜高等学校 3年 下村 武靖

まいしました。優勝を目指して日々努力してきていたのですごく悔しかったです。力不足でした。しかし、チームとしては5位入賞が3名と、少しでも福島県に貢献できたので良かったと思います。

そして、日頃から私を応援してくれている方々やサポートしてくれている家族や仲間たちには感謝しています。皆様、ありがとうございます。そして大学に進学しても、故郷福島県のため、自分の目標を達成するために日本の頂点を目指して頑張っていきたいと思います。今後もご支援の程よろしく願い致します。

継続と変化

2024SAGA国民スポーツ大会に福島県レスリング競技成年監督として参加させて頂き多くの事を学びました。

開会式の整列入場行進から自由な入場行進、表彰制度も都道府県別対抗の他に新記録、最高得点、MVP、メダルの授与等、試合進行ではナイトゲームが行なわれ、嬉野市内では嬉野温泉駅から町を巡回する自動運転車も走っていました。国スポの変化を感じた一面でした。

試合の結果は、成年選手は6名(男5名・女1名)参加5名の選手が初戦を突破し大活躍でした。良い流れで3位1名・5位1名の成績で、少年選手も7

レスリング競技(成年男子)
監督 今村 浩之

名出場5位2名の成績で選手たちは頑張りました。中でも今村太陽選手はG97kg級で福島県代表選手として初の3位入賞をはたし、福島県レスリング競技は天皇杯総合成績で27位でした。

平成7年のふくしま国民体育大会レスリング競技成年選手として出場し、30年後の令和6年2024SAGA国民スポーツ大会で福島県レスリング競技成年監督として参加できたことは、福島県スポーツ協会、福島県レスリング協会、いわき市レスリング協会、クリナップ㈱、職場の皆さんのおかげであり感謝の念に堪えません。これからもレスリング競技を通じて後進の指導を邁進していきます。



第79回国民スポーツ大会冬季大会成績

① 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート競技会 アイスホッケー競技会	R7.1/26(日) ～2/5(水)	群馬県 馬川山敷 市	鈴木 優樹	2	8	3	27	38
	スキー競技会	R7.2/13(木) ～2/16(日)	秋田県 鹿角市	阿部 和博	1	8	3	31	42

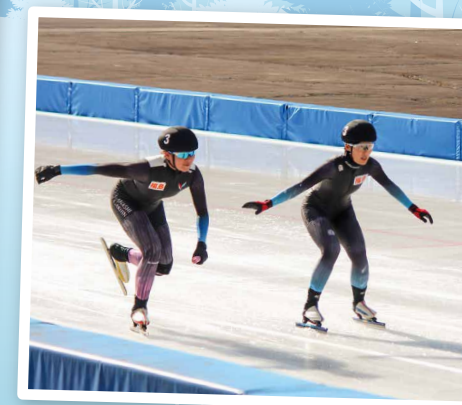
② 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
スケート競技会		3点	10点	13点	27位	3点	10点	13点	23位
アイスホッケー競技会		0点	10点	10点	13位	—	—	—	—
スキー競技会		0点	10点	10点	22位	0点	10点	10点	16位
合計		3点	30点	33点	32位	3点	20点	23点	26位

③ 入賞状況

●スケート競技 競技得点 3点 天皇杯 27位 皇后杯 23位

種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	スピード 1500m	8	1	清水 凜	早稲田大学 4年
				木田 綾音	陸上自衛隊
	スピード 2000mR	7	2	秋山 光希	安積第二小学校(教)
				安田 彩夏	福島県スケート連盟
				清水 凜	早稲田大学 4年





ふくしまスポーツキッズ発掘事業

将来有望な人材の発掘・確保・育成を目的として「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやってみよう」という小・中学生を対象に、自分に合った種目と興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。

体験プログラム

令和6年度体験プログラムは、19競技22種目、全37回のプログラムを実施しました。県内の小・中学生を対象に、競技団体主催の体験教室を実施しています。毎年多くのキッズに様々な競技種目に参加していただいております。

日程	種目	主催団体
6月22日(土)	カヌー(スプリント)①	福島県カヌー協会
6月30日(日)	ボクシング①	福島県ボクシング連盟
7月6日(土)	ウエイトリフティング	福島県ウエイトリフティング協会
7月20日(土)	ボウリング①	福島県ボウリング連盟
7月21日(日)	カヌー(スラローム)①	福島県カヌー協会
7月21日(日)	ハンドボール①	福島県ハンドボール協会
7月27日(土)	ボウリング②	福島県ボウリング連盟
7月28日(日)	カヌー(スラローム)②	福島県カヌー協会
8月3日(土)	セーリング①	福島県セーリング連盟
8月3日(土)	セーリング②	福島県セーリング連盟
8月4日(日)	自転車競技	福島県自転車競技連盟
8月10日(土)	ライフル射撃①	福島県ライフル射撃協会
8月17日(土)	スポーツクライミング①	福島県山岳・スポーツクライミング連盟
8月17日(土)	スポーツクライミング②	福島県山岳・スポーツクライミング連盟
8月18日(日)	剣道①	福島県剣道連盟
8月24日(土)	カヌー(スプリント)②	福島県カヌー協会
8月25日(日)	トランポリン①	福島県体操協会
8月25日(日)	トランポリン②	福島県体操協会
8月31日(土)	アーチェリー	福島県アーチェリー協会
9月7日(土)	体操(新体操・女子)	福島県体操協会
9月14日(土)	相撲①	福島県相撲連盟
9月16日(月)	体操(器械体操)①	福島県体操協会
9月22日(日)	体操(器械体操)②	福島県体操協会
10月6日(日)	ボクシング②	福島県ボクシング連盟
10月12日(土)	ライフル射撃②	福島県ライフル射撃協会
10月12日(土)	レスリング	福島県レスリング協会
10月14日(月)	剣道②	福島県剣道連盟
10月19日(土)	フェンシング①	福島県フェンシング協会
10月20日(日)	フェンシング②	福島県フェンシング協会
10月26日(土)	相撲②	福島県相撲連盟
10月26日(土)	銃剣道	福島県銃剣道連盟
11月3日(日)	ソフトテニス	福島県ソフトテニス連盟
11月3日(日)	アイスホッケー	福島県アイスホッケー連盟
11月4日(月)	スポーツクライミング③	福島県山岳・スポーツクライミング連盟
11月4日(月)	スポーツクライミング④	福島県山岳・スポーツクライミング連盟
11月16日(土)	スケート①	福島県スケート連盟
11月30日(土)	スケート②	福島県スケート連盟



剣道



ウエイトリフティング

カヌー



スポーツクライミング

フェンシング



レスリング

銃剣道



新体操

体操

スポーツふくしま ビルドアッププロジェクト

ふくしまシャイニングスタープロジェクト

将来、全国大会や国際大会での活躍を希望する中学生に対し、オリンピック選手輩出実績のある競技の実践等を通じて未来のトップアスリートを育成することを目的とし、「ウエイトリフティング競技」と「自転車競技」の2競技で実施されました。

ウエイトリフティング競技

令和6年9月14日(土)に福島県立田村高校を会場として選考会が実施されました。その結果、7名が選考され、9月から1月にかけて大会見学や競技体験などを行いました。参加者は競技を間近で見学したり、トレーニングで汗を流したりしながら、競技の魅力を存分に味わいました。ふくしまの「シャイニングスター」たちの活躍が楽しみです。

自転車競技

令和6年12月14日(土)に福島県立白河実業高校第一体育館を会場として開催されました。6名の中学生が参加し、体力測定等の発掘テストを行いました。参加した中学生は、高校生になってから本格的に自転車競技を始めたいという強い意志があり、今後の活躍が非常に楽しみです。これからの活躍を期待しています。



リーディングコーチ養成事業

本県選手が優れた指導を受けられる環境整備を図るため、指導者を対象とした競技力向上とスポーツインテグリティに係る研修会を実施しました。

リーディングコーチ養成研修Ⅰ

令和6年6月27日(木)13:30より福島県自治会館にて参集形式で行いました。東海大学教授の勝田隆先生より、『新たな時代に向けて～パフォーマンス発揮の「舞台」について考える～』との演題で御講義をいただきました。県スポーツ協会が指定する競技団体より推薦されたリーディングコーチ13名に御出席いただきました。

リーディングコーチ養成研修Ⅱ 兼 福島県スポーツ協会指導者研修

令和6年11月7日(木)10:15より福島県自治会館にてハイブリッド形式で行いました。東京大学公共政策大学院講師の浅野大介氏より、『スポーツと学びの未来』との演題で御講義をいただきました。リーディングコーチ13名と加盟団体の関係者43名の計56名に御出席いただきました。

リーディングコーチ養成研修Ⅲ

令和7年2月5日(水)13:30より福島県自治会館にて参集形式で行いました。会津大学上級准教授の沖和砂先生より、『福島県のスポーツにおけるダイバーシティ』の演題で御講義いただきました。リーディングコーチ12名に御出席いただきました。



ふくしまゴルフプロジェクト

全国でも有数のゴルフ場を有する福島県として、一般社団法人日本女子プロゴルフ協会（JLPGA）と連携を図りながら、プロで活躍する人材の育成やゴルフを通じた交流拡大、子どもたちの健全育成、高齢者の健康寿命の延伸に向け取り組むことにより、ゴルフ振興を通じた地域活性化を図ることを目的とした事業です。JLPGAの栗西鈴香氏をスペシャルコーチとして招聘し、「高等学校出前講座」、「スナッグゴルフ教室」、「ジュニアゴルフ塾」、「指導者養成講習会」を実施しました。

高等学校出前講座

高校生を対象に授業の一環として出前講座を実施して、ゴルフに触れる機会を創出し裾野拡大と技術力の向上に取り組みました。実施校の生徒達は、学校での基本練習、ゴルフ練習場での打球練習、ゴルフ場でのラウンド実習などを通して技術を身に付けるとともに、ゴルフ競技を行う上で大切なマナーを学ぶこともできました。

令和6年度実施校：福島県立安達高等学校、福島県立田村高等学校、福島県立光南高等学校、福島県立川口高等学校



スナッグゴルフ教室

子どもたち・高齢者等あらゆる世代（小学校、放課後児童クラブ、総合型地域スポーツクラブ等）を対象にゴルフにふれあう機会の創出を目的として、スナッグゴルフ教室を開催しました。

令和6年度実施団体：西郷村立川谷小学校、本宮市放課後子ども教室（遊友クラブ）、特定非営利活動法人いわきクラブ（あたご明星・暁児童クラブ）



ジュニアゴルフ塾

ゴルフ経験のある小学生、中学生を対象に、ジュニア期からのゴルフの競技力向上を図り、小学校から中学校、高等学校へとつながる人材を育成して本県から優秀なゴルファーを輩出することを目的に実施しました。令和6年度は、県南管内の小学生、中学生16名が栗西鈴香コーチよりレッスンを受けました。



指導者養成講習会

総合型地域スポーツクラブを対象としたゴルフ指導者の養成を目的とした事業です。ゴルフの指導ができる人材を増やし、あらゆる世代の方々々がゴルフに対する興味・関心を深めることで本県ゴルフ競技の普及や底辺の拡大を図ってまいります。令和6年度は、特定非営利活動法人西の郷スポーツクラブで実施しました。



福島県・京都府2024青少年交流事業（スポーツ交流）

令和6年8月3日（土）から5日（月）にわたって、福島県・京都府2024青少年交流事業を開催しました。

本事業は、2011年の東日本大震災で被害を受けた本県の子どもたちを、公益財団法人京都府公園公社が京都府へ招待する形で始まりました。スポーツ交流を目的として毎年招待を受け、交流試合や競技講習会などを行ってきました。台風や新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止が続いていましたが、6年ぶりの開催となった今回は本県でバスケットボールによる交流を行いました。

今回は、福島市トヨタクラウンアリーナを会場に京都府DC選抜を招待し、本県からは守山スポーツ少年団、あおばスポーツ少年団、吉井田スポーツ少年団、渡利スポーツ少年団、杉妻スポーツ少年団、桜スポーツ少年団が参加し交流戦を行いました。交流戦の他にも、福島ファイヤーボンズによるクリニックや、福島県の伝統工芸品であるこけしの絵付け体験、果樹園での桃狩りを体験しました。また、浪江町の震災遺構「請戸小学校」を見学し、防災への学びや復興への姿を肌で感じていただきました。



月 日	活動内容
8月3日(土)	こけしの絵付け体験
8月4日(日)	開始式
	クリニック(福島ファイヤーボンズ)
	交流試合(第1試合)
	交流試合(第2試合)
	震災遺構 請戸小学校
8月5日(月)	道の駅なみえ(お土産等)
	桃狩り体験
	道の駅ふくしま(お土産等)

令和6年度公益財団法人福島県スポーツ協会表彰式

令和6年度公益財団法人福島県スポーツ協会表彰式は、令和7年1月10日に福島市のエルティ ウェディング・パーティ エンボリアムにて執り行われました。式では各賞ごとに受賞者の呼名後、内堀雅雄名誉会長、北村清士会長より表彰状が授与されました。受賞者を代表して特別賞を受賞された大堀彩選手（バドミントン競技）より謝辞がありました。

表彰式後には、受賞者と名誉会長・会長との記念写真撮影を行いました。

今年度の受賞者は下記のとおりです。（敬称省略）※所属は大会出場時のものを記載しています。

スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- 村田 功(福島県ソフトテニス連盟)

●須佐 喜夫(福島県テニス協会)

●五十嵐弘之(福島県バドミントン協会)
- 大瀧 康正(福島県馬術連盟)

●五十嵐一夫(会津地域連合会)

●高橋 良一(会津地域連合会)

- 佐々木清一(相双地域連合会)

●石川 榮次(相双地域連合会)

優秀選手賞(個人) 本県を代表して全国大会に出場し優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手

- 陸上競技

●松本奈菜子((株)東邦銀行)

●#Fアピガル隼((株)東邦銀行)

●山内 大夢((株)東邦銀行)

●久家すずか(金沢学院大学)

●増子 陽太(学校法人石川高校)

●高橋 駿士(県立会津学鳳高校)

●長峰 礼(県立郡山萌世高校)

●小野 大輝(日大東北高校)
- ソフトテニス

●久保田笑心(学校法人石川高校)

●宮本 絢菜(学校法人石川高校)

●草野 春真(県立田村高校)

●吉田 唯杏(西郷村立西郷第一中学校)

●青木 大(いわき市立小名浜第二中学校)

●佐藤 蒼真(西郷村立西郷第一中学校)

●大武 姫菜(須賀川市立西袋中学校)

●大武 夢菜(須賀川市立西袋中学校)
- テニス

●齋藤 瑠奈(亜細亜大学)

●八島 柊人(福島市立岳陽中学校)

●菊地 駿太(福島市立岳陽中学校)
- サッカー

●千葉玲海菜(アイントラハート・フランクフルト)
- 卓球

●伊藤 昌夫(TISS)

●津田 圭一(会津クラブ)

●田崎 朝子(会津クラブ)
- 剣道

●留場 啓伍(国士舘大学)
- ローイング

●渡邊ルーク(県立会津高校)

●伊藤 詩野(県立会津高校)
- 水泳

●寺田 拓末(ミツウロコ)

●渡部 竣也(日本大学東北高校)

●武田 璃子(日本大学東北高校)

●千葉 優奈(郡山市立郡山第五中学校)

●國分 昭俊(郡山市立郡山第七中学校)

●遠藤 舞羽(伊達市立伊達中学校)

●本田 紗那(郡山市立明健中学校)

●鈴木 悠登(郡山市立朝日丘小学校)
- 自転車競技

●窪木 一茂(日本競輪選手会福島支部)

●吉田 唯斗(明治大学)

●福地 晶(法政大学)

●成田 光志(学校法人石川高校)

●榊枝 天旺(学校法人石川高校)

●沢田虹太郎(学校法人石川高校)
- バドミントン

●吉田 邦男(若羽会)

●遠藤美美子(郡山ポピーBC)

●山川美佐江(いわきレディース)

●石井 正男(白河クラブ)

●市川加代子(COLORS)

- 上野 孝(門田クラブ)

●稲村 美幸(BC. Grand cru)

●伊藤 明美(BC. Grand cru)

●高橋 裕一(アスレチッククラブ)

●齋藤 勝明(チーム上酒林)

●寺田 駿(earth)

●渡辺 勇大(BIPROGY(株))

●五十嵐有紗(BIPROGY(株))

●大堀 彩(トナミ運輸(株))

●保木 卓朗(トナミ運輸(株))

●小林 優吾(トナミ運輸(株))

●海妃(県立ふたば未来学園高校)

●山北 奈緒(県立ふたば未来学園高校)

●松川 健大(県立ふたば未来学園高校)

●中静 悠斗(県立ふたば未来学園高校)

●川野 寿真(県立ふたば未来学園高校)

●山城 政人(県立ふたば未来学園高校)

●畠山 想来(県立ふたば未来学園高校)

●秋田 まな(県立ふたば未来学園高校)

●山北 眞緒(県立ふたば未来学園高校)

●宮下 翔伍(県立ふたば未来学園高校)

●増田 遥(県立ふたば未来学園高校)

●芳賀 凜歩(県立ふたば未来学園中学校)

●上野 優寿(県立ふたば未来学園中学校)

●伴野 碧唯(県立ふたば未来学園中学校)

●串間 太政(県立ふたば未来学園中学校)

●小川 真輝(県立ふたば未来学園中学校)

●高畠 央侑(県立ふたば未来学園中学校)

●佐藤 心彩(県立ふたば未来学園中学校)

●石川 隼(県立ふたば未来学園中学校)

●宮原 圭純(県立ふたば未来学園中学校)
- 柔道

●片山 謙心(県立田村高校)
- スキー

●西沢 岳人(チームリステル)
- スケート

●相場 啓吏(福島県スケート連盟)
- 馬術

●秋葉 大地(桑折町ホースパーク)
- バレーボール

●立谷純太郎(福島県バレーボール協会)

●佐藤 にじ(郡山女子大学附属高校)
- ウエイトリフティング

●今野 金哉(県警クラブ)

●高野 滋(福島県ウエイトリフティング協会)

●大内 俊幸(マルナカ(株))

●清野 裕司(県立福島明成高校(教))

●近内 三孝((株)ビッグワンアスリート)

●穴戸 大輔(BLACK SHIPS)

●遠藤 朱李(鏡石町立第二小学校(教))

●内藤 武蔵(日本大学)

●君島 一成(日本大学)

●遠藤 梨李(東京国際大学)

●浪越晴太郎(日本大学)

●門馬悠太郎(県立福島工業高校)

- 増子 創也(県立福島明成高校)

●鈴木 優人(県立田村高校)
- レスリング

●今村 太陽(いわき市立泉北小学校(教))

●筒井 双(県立ふたば未来学園高校)

●内山 陽詩(県立ふたば未来学園高校)

●山本 侑季(県立喜多方桐桜高校)

●湯田 鈴(県立ふたば未来学園高校)

●大豆生田麗(県立ふたば未来学園高校)

●保坂 樹奈(県立ふたば未来学園中学校)

●久保山 朔(県立ふたば未来学園中学校)

●牧野 心咲(県立ふたば未来学園中学校)
- フェンシング

●小野塚 生(いわき秀英中学校)
- 銃剣道

●山口あや子(陸上自衛隊第6高射特科大隊)

●円谷 美晴(陸上自衛隊第6高射特科大隊)
- なぎなた

●久保田のえる(福島大学)

●辰野 心音(福島大学)

●室井 彩良(県立会津学鳳中学校)

●稲川 舞(県立会津学鳳中学校)

●廣野 結音(会津若松市立第二中学校)

●坂元 奏太(会津若松市立第二中学校)
- ボウリング

●鈴木 英子(福島県ボウリング連盟)

●松本 広美(福島県ボウリング連盟)
- カヌー

●青木 瑞樹(自衛隊体育学校)

●小山田香貴(立命館大学)

●渡辺 愛生(同志社大学)

●青木 悠生(県立安達高校)

●安齋 勇真(県立安達高校)

●渡辺 洋介(県立安達高校)

●島村金太郎(県立安達高校)

●高野 漣(二本松市立東和中学校)
- トライアスロン

●菅家 成美(東京家政大学)
- スポーツチャンバラ

●佐藤 慈貴(郡山市立高瀬中学校)

●横田 淳(郡山市立郡山第二中学校)

●間弓 瑠奈(宮城県亘理町立荒浜中学校)

●金井 棕平(郡山市立橋小学校)

●岩間琥太郎(郡山市立大島小学校)
- 福島県高等学校体育連盟

●佐藤 拓斗(東日本国際大学附属昌平高校)
- (公財)福島県障がい者スポーツ協会

●橋本 勝也(日興アセットマネジメント(株))

●半谷 静香(トヨタグループ(株))

●遠藤 裕美(福島県ポッチャ協会)

●齋藤由希子(SMBC日興証券(株))

●佐々木真菜((株)東邦銀行)

●森谷 幸生(PwC JapanLLC)

●山口 翔大(日鉄鉱業(株))

●越前 由喜(県立郡山支援学校(教))

優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し優れた成績を収めた団体

- 陸上競技

●第72回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子総合 東邦銀行

●第72回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 男女総合 東邦銀行
- 軟式野球

●第78回国民スポーツ大会 軟式野球競技 成年男子 福島県((株)相双リテック)

●第7回全日本シニア軟式野球大会 会津シニア
- ソフトテニス

●第68回全日本実業団ソフトテニス選手権大会 ダンロップ
- 卓球

●令和5年度第51回全国高等学校選抜卓球大会 女子学校対抗 桜の聖母学院高校
- 剣道

●令和6年度全国高等学校総合体育大会 剣道競技 男子団体 聖光学院高校
- バドミントン

●第78回国民スポーツ大会 バドミントン競技 成年女子 福島県

●第78回国民スポーツ大会 バドミントン競技 少年男子 福島県

●令和6年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技 学校対抗 男子 県立ふたば未来学園高校

- 令和5年度第52回全国高等学校選抜バドミントン大会 学校対抗 男子 県立ふたば未来学園高校

●令和6年度全国中学校体育大会 バドミントン競技 男子団体 県立ふたば未来学園中学校

●令和6年度全国中学校体育大会 バドミントン競技 女子団体 県立ふたば未来学園中学校

●第24回全日本中学バドミントン選手権大会 都道府県対抗団体戦 福島県
- 弓道

●第78回国民スポーツ大会 弓道競技 成年男子 近畿競技 福島県
- ウエイトリフティング

●第60回全日本社会人ウエイトリフティング選手権大会 団体(企業チーム部門) (株)久工業所
- 銃剣道

●第23回全日本短剣道大会 団体戦 女子の部 郡山A
- 綱引

●2024全日本ジュニア・ユース綱引選手権大会 男子340Kg以下 木幡べんてんジュニア
- 野球

●第48回全日本クラブ野球選手権大会 エフコムBC
- 福島県高等学校体育連盟

●令和6年度全国高等学校定時制通信制体育大会 バスケットボール競技 女子 県立郡山萌世高校

優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

- 陸上競技

●吉田真希子(株)東邦銀行

●塚本 泰英(株)相双リテック

●平野 和美 会津オリンパス(株)

●大槻 三喜 住友ゴム工業(株)

●小林 直哉 桜の聖母学院高校

●佐藤 裕展 県立白河高校

●熊坂 洋平 聖光学院高校

●西川 友章 県立郡山商業高校・郡山ダイビングクラブ

●齋藤 亘 県立ふたば未来学園中学校
- バドミントン

●竹俣 洋平 尚志高校

●本多 裕樹 県立ふたば未来学園高校

●大久保菜摘 県立ふたば未来学園高校

●渡邊 英史 日新火災インシュアランスサービス(株)

●砂川 航祐 県立ふたば未来学園高校

●肥塚 克典 自衛隊福島地方協力本部

●齋藤 慶司 木幡べんてんジュニア

●荒明 定義 福島県スポーツチャンバラ協会

●宗形 秀夫 県立郡山萌世高校

社会優良団体賞 地域・職域のクラブとしての活動を通して、本県の地域スポーツ振興に功績のあった団体

- 特定非営利活動法人たまかわ元気スポーツクラブ
- 特定非営利活動法人ただみコミュニティクラブ

特別賞 国民スポーツ大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人およびその指導者

- 軟式野球

●福島県野球連盟
- サッカー

●千葉玲海菜 アイントラハート・フランクフルト
- 自転車競技

●窪木 一茂 日本競輪選手会福島支部
- バドミントン

●渡辺 勇大 BIPROGY(株)
- バドミントン

●五十嵐有紗 BIPROGY(株)
- バドミントン

●大堀 彩 トナミ運輸(株)
- ウエイトリフティング

●近内 三孝(株)ビッグワンアスリート
- 車いすラグビー

●橋本 勝也 日興アセットマネジメント(株)
- 柔道

●半谷 静香 トヨタグループ(株)
- ポッチャ

●遠藤 裕美 福島県ポッチャ協会
- 陸上競技

●齋藤由希子 SMBC日興証券(株)
- 陸上競技

●佐々木真菜(株)東邦銀行



謝辞
大堀 彩 選手



特別賞
福島県野球連盟



特別賞
大堀 彩 選手



特別賞
近内 三孝 選手



特別賞
齋藤 由希子 選手



スポーツ功労賞
大瀧 康正 氏



優秀選手賞(個人)
高橋 駿士 選手



優秀選手賞(団体)
弓道 福島県 山口 哲成 選手)



優秀指導者賞
塚本 泰英 氏



社会体育優良団体賞
特定非営利活動法人たまかわ元気スポーツクラブ
(代表 溝井 賢一郎 氏)



名誉会長あいさつ
(内堀 雅雄 福島県知事)



開式あいさつ
(北村 清士 会長)

親子体操教室・指導者実技講習会

in 小野町

親子体操教室



令和6年9月21日(土)、小野町町民体育館において、18年目を迎えた「親子体操教室&指導者実技講習会」を開催しました。

今年は「体操のお兄さん」こと佐藤弘道氏が代表を務める体操教室から亀井教人氏と佐藤久美子氏を講師にお迎えし、「親子体操教室」には19組58名の親子が、「指導者実技講習会」には22名が参加しました。

音楽に合わせて、親子で一緒に身体を動かす楽しさと大切さを学んだ1時間でした。これからの家族のふれあいや健康づくりに役立てていただきたいと思います。



元気に楽しく体を動かして
子供の基礎体力作りを学ぼう！

指導者実技講習会

午後の部の指導者実技講習会には、幼児教育に関わる指導者や総合型地域スポーツクラブの関係者など22名が参加しました。運動会などに活用できるたくさんのプログラムで指導者の方々も楽しく体を動かしました。



スポーツ医事・トレーニング相談事業

この事業は、スポーツ愛好者や競技者のけが・病気に関する相談をはじめ、体力や種目の特性に応じたトレーニング処方を行い、健全なスポーツ活動の推進を図ることを目的にしています。依頼により、相談員・講師を派遣します。

相談員・講師

本協会スポーツ医・科学委員
スポーツドクター部会員
アスレティックトレーナー部会員
スポーツ栄養士部会員
スポーツファーマシスト
その他、スポーツ医・科学委員が認めた講師

講師派遣の内容例

- | | |
|----|--|
| 講義 | <ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ外傷・障害の基礎知識 ● スポーツと栄養 ● アンチ・ドーピング ● 女性に対するスポーツ指導 ● けがの応急手当 など |
| 実技 | <ul style="list-style-type: none"> ● ストレッチ ● スポーツテーピング ● ウォーミングアップ、クールダウン ● スポーツマッサージ・筋力トレーニング など |

テーピング講習会



けがの予防講習会



スポーツと栄養講習会



アンチ・ドーピング研修会



アンチ・ドーピング教育・啓発活動では、競技者をはじめスポーツに関わる全ての人に、クリーンでフェアなスポーツマンシップとアンチ・ドーピングを啓発することを目的として、福島県スポーツファーマシスト協会の協力のもと啓発活動を実施しています。





スポーツ指導者養成講習会

日本スポーツ協会及び加盟団体等では、生涯スポーツ社会の実現を目指し、生涯を通じた「快適なスポーツライフ」を構築するため、その推進の中心となる指導者を養成しており、年齢(発育発達段階)や技能レベル、興味や志向など多様なスポーツ活動に対応するため、指導対象や活動拠点を考慮し5領域19種類の資格を設け、ライフステージに応じた多様なスポーツ活動を推進することのできるスポーツ指導者を育成しています。

公認スポーツ指導者資格の種類

①スポーツ指導者基礎資格

- スポーツコーチングリーダー
- スポーツリーダー(養成終了)

③メディカル・コンディショニング資格

- スポーツドクター
- スポーツデンティスト
- アスレティックトレーナー
- スポーツ栄養士

⑤マネジメント指導者資格

- アシスタントマネジャー
- クラブマネジャー

②競技別指導者資格

- スタートコーチ
- コーチ1(旧指導員)
- コーチ2(旧上級指導員)
- コーチ3(旧コーチ)
- コーチ4(旧上級コーチ)
- 教師
- 上級教師

④フィットネス資格

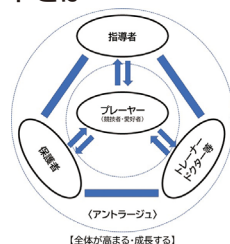
- フィットネストレーナー(養成終了)
- スポーツプログラマー
- ジュニアスポーツ指導員
- スタートコーチ(ジュニア・ユース)

公認スポーツ指導者とは

スポーツの価値やスポーツの未来への責任を自覚し、**プレーヤーズセンター**の考え方のもとに**暴力やハラスメントなどあらゆる反倫理的行為を排除**し、常に自らも学び続けながらプレーヤーの成長を支援することを通して、豊かなスポーツ文化の創造やスポーツの社会的価値を高めることに貢献できる者。

プレーヤーズセンターとは…

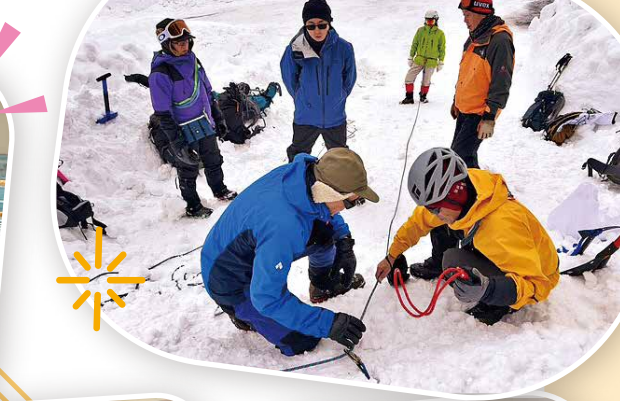
プレーヤーを取り巻くアントラージュ自身もそれぞれのWell-being(良好・幸福な状態)を目指しながら、プレーヤーをサポートしていくという考え方。



※日本スポーツ協会HPから抜粋

受講者の皆さんは、指導者としての高い志をもち、熱心に講義に取り組んでいました。

基礎理論から実技・指導実習、応急処置まで、幅広い知識とスキルを習得しようと真剣に取り組みながらも、時折見せる明るい笑顔が印象的でした。専門科目と共通科目を合格され、令和7年10月からのJSPC公認スポーツ指導者としての活躍を心より応援しております。そして、地域のスポーツ振興に大きく貢献されることを期待しています。



上記の資格のうち、本協会では、生涯スポーツ係でコーチ1・コーチ2・スポーツドクター・アスレティックトレーナーの資格取得に関する、ふくしま広域スポーツセンターでアシスタントマネジャー養成講習会の運営、スポーツ少年団でスタートコーチ(ジュニア・ユース)養成講習会の運営を行っています。

	競技名	開催期日	受講者数	会場
コーチ1(専門科目)	ソフトテニス	①10月12日 ②11月23日～24日	41名	本宮市高木地区公民館、ルネサンス棚倉
	水泳	①9月8日 ②10月6日 ③10月20日	7名	本宮市民プール 本宮第一中学校体育館
	バドミントン	①11月9日～10日 ②11月17日	22名	学校法人尚志学園尚志高等学校
	バレーボール	①9月29日 ②10月5日～6日	25名	福島県立福島工業高等学校体育館
	山岳	①7月6日～7日 ②11月9日～10日 ③1月11日～12日	6名	国立磐梯青少年交流の家 聖ヶ岩ふるさとの森
コーチ2	共通科目Ⅱ	①12月21日～22日	24名	郡山ユラックス熱海

令和6年度の競技別指導者資格の養成講習会は、各競技団体と連携し、上記の5競技において開催しました。

『令和7年度公益財団法人日本スポーツ協会公認 コーチ1・コーチ2養成講習会について』

令和7年度に本県で開催を予定しているのは、以下の通りです。開催時期や日程・内容等の詳細については、本協会ホームページに令和7年5月上旬に掲載予定です。

コーチ1(5競技)：水泳、ソフトテニス、テニス、バドミントン、山岳(アルパインクライミング)

公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の取得に関する申込手続きや情報提供等は日本スポーツ協会「指導者マイページ」に掲載されています。これから新たに指導者資格の取得を目指す方はもちろん、既に指導者資格をお持ちの方もぜひ日本スポーツ協会「**指導者マイページ**」の登録をお願いします。指導者マイページを利用すると、本県で開催される講習会以外にも全国各地で行われている講習会情報の取得や申込みが可能です。**(登録方法は、本協会ホームページでも紹介しています。)**



指導者マイページ(日本スポーツ協会)について
(<https://www.sports-fukushima.or.jp/coach/>)



令和6年度

福島県スポーツ指導者研修会

(更新研修会)

福島県スポーツ指導者協議会では、スポーツ指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために、年2回のスポーツ指導者研修会(更新研修会)を実施しており、今年度も下記のとおり開催しました。

開催日

第1回 令和6年 9月 1日(日)

第2回 令和6年11月24日(日)

場所

郡山ユラックス熱海

参加者

第1回 99名

第2回 131名

内容

第1回

講演Ⅰ 演題「女性アスリートが抱える疾病等の対応」
講師：福島県立医科大学、
日本スポーツ協会公認スポーツドクター
山口 明子 氏

講演Ⅱ 演題「スポーツと栄養(栄養と回復)」
講師：公立藤田総合病院、
日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士
酒井有理子 氏

第2回

講演Ⅰ 演題「プレイヤーズセンタードなコーチング」
講師：東京成徳大学、
日本スポーツ協会公認コーチデベロッパー
夏原 隆之 氏

講演Ⅱ 演題「トレーニングの科学(トレーニングとコンディショニング)」
講師：やまぐち整形外科クリニック、
日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー
服部 和彦 氏



今年度の2回の研修会は、いずれもスポーツ指導者のスキルアップを目的とし、最新の知見や具体的な事例を交えた実践的な内容で構成されました。女性アスリート特有の課題や競技力向上のための栄養管理、コーチングの際に避けるべき行動と選手の成長を促すことができるような指導者の姿や発達段階に応じたトレーニングの考え方や休息の重要性など、現代のスポーツ指導において求められるテーマが取り上げられました。受講者は、熱心に講義に耳を傾け、活発な質疑応答を通じて指導現場での実践をイメージし、自身のスポーツ指導者としての成長につなげる機会となりました。

資格更新のためだけでなく、スポーツ指導者としての意識の向上と、質の高い指導の実現を目指すことのできる有意義な研修会になりました。

令和7年度の講習会受講にあたって

本研修会は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の**更新研修**にあたります。公認スポーツ指導者資格の有効期間は**4年間**と定められており、**資格を更新するためには有効期限の6か月前までに所定(競技によって異なる。)の更新研修を受けることが義務付けられています**。自身の資格の競技名や有効期限等を御確認いただき、対象競技の方はぜひ受講を御検討ください。(更新対象外競技の方も受講できますが、資格の更新にはなりませんので注意してください。)

令和7年度の開催予定は下記のとおりです。

第1回

開催予定日:令和7年 9月 7日(日)

場所:郡山ユラックス熱海

第2回

開催予定日:令和7年12月 7日(日)

場所:双葉町産業交流センター

申込み方法 令和7年の6月下旬を目安に、本協会ホームページに実施要項を掲載します。そちらを御確認いただき、次の①～③のいずれかの方法でお申込みください。なお、①の**指導者マイページ**からの**申込を原則**とし、それが困難な場合は②または③の方法でお申込みください。

- ① インターネットサービス「指導者マイページ」(<https://my.japan-sports.or.jp/login>)でアカウント登録を行い、本講習会の申込手続きを行う。
指導者マイページの登録方法の詳細は、公益財団法人福島県スポーツ協会ウェブサイトを参照する。
【福島県スポーツ協会→スポーツ指導者→指導者マイページ(日本スポーツ協会)について】で検索
- ② FAXで申込む。FAX番号：024-521-7971
- ③ E-mailで申込む。送信先：shougai@sports-fukushima.or.jp

※②③については様式自由で下記の必要事項を記入の上、期日までにお申込み下さい。

- 福島県スポーツ指導者協議会事務局宛(担当 生涯スポーツ係)
- 郵便番号・住所・電話番号
- 氏名
- 登録番号
- 資格・競技名

本研修会以外の更新研修会の情報については日本スポーツ協会ホームページを御覧ください。
・資格更新のための研修 - スポーツ指導者 - JSPO (<https://www.japan-sports.or.jp/coach/tabid238.html>)



日本スポーツ協会公認

スポーツ指導者資格関連情報

※下記は日本スポーツ協会 HP から抜粋

「登録番号」が「MyJSPO No.」へ変更になります (2025/01/27付)

この度、当協会(JSPO)における情報システム全般の効率化を図るとともに、公認スポーツ指導者をはじめ各種関係者向けのサービスを向上させるため、当協会各種事業の情報システムを統合することとなりました。このことに伴い、公認スポーツ指導者の「登録番号」を「**MyJSPO No.**」に変更するとともに、2025年4月登録・更新手続き対象者の方へお送りする登録証・認定証から順次「**MyJSPO No.**」の表記に切り替えてまいります。指導者マイページにおいても、新しい情報システムの運用を開始する2025年5月中旬頃から切り替える予定です。また、従来の「登録番号」は数字7桁でしたが、新しい「**MyJSPO No.**」は数字9桁となり、これまでの番号の先頭に「00」が加わります。

〈例〉

従来の登録番号：1234XYZ
→MyJSPO No.：001234XYZ

変更前



変更後



更新研修のご案内

公認スポーツ指導者資格の有効期間は、資格登録後4年間です。資格を更新するためには、**資格認定日(更新日)から資格有効期限の6か月前まで**に、日本スポーツ協会あるいは当該中央団体等の定める研修会を最低1回受けることが必要です。研修受講期限までに、更新研修を受講しなかった指導者へは更新登録案内が送付されませんのでご注意ください。なお、「スポーツリーダー」については、永年認定資格のための登録・更新はありません。

有効期限	有効期限	研修受講期限	更新登録手続き期間
2024年	3月31日の方	2023年9月30日	2024年1月下旬～3月31日
	9月30日の方	2024年3月31日	2024年7月下旬～9月30日
2025年	3月31日の方	2024年9月30日	2025年1月下旬～3月31日
	9月30日の方	2025年3月31日	2025年7月下旬～9月30日
2026年	3月31日の方	2025年9月30日	2026年1月下旬～3月31日
	9月30日の方	2026年3月31日	2026年7月下旬～9月30日
2027年	3月31日の方	2026年9月30日	2027年1月下旬～3月31日
	9月30日の方	2027年3月31日	2027年7月下旬～9月30日
2028年	3月31日の方	2027年9月30日	2028年1月下旬～3月31日
	9月30日の方	2028年3月31日	2028年7月下旬～9月30日

※ 資格認定日(更新日)に、それまでの研修実績がリセットされます。そのため、資格認定日以前の研修実績は、資格認定日以降の研修実績として持ち越されませんのでご注意ください。
例：2024年4月1日付で新規登録(追加登録や昇格は除く)や更新された場合
→2024年4月1日以降に開催された研修が実績の対象となります。

指導者マイページへの研修参加実績の反映について

参加から平均2か月程度で反映します。2か月後以降も反映されていない場合は、参加された研修会の運営団体までお問い合わせをお願いいたします。
※水泳・テニス・エアロビック・プロゴルフ・プロテニス・プロスキー・スポーツデンティスト・スポーツ栄養士の資格については、競技団体の意向により研修会の受講実績を独自で管理しているため、資格更新の約4か月前に反映されます。

スポーツ栄養士養成・スキルアップ講習会

この講習会は、スポーツ愛好者や競技スポーツ活動における栄養・食事に関する専門的なサポートや、スポーツ医事・トレーニング相談事業等の講師を務める福島県スポーツ協会認定スポーツ栄養士の養成とスキルの向上を図ることを目的としており、県内各地から養成対象の新規受講者が12名、本協会認定スポーツ栄養士が13名参加しました。

〔開催日・場所〕令和6年7月14日(日) 福島県青少年会館

講習内容

認定スポーツ栄養士の役割  酒井 有理子氏 公立藤田総合病院 / JSPO公認スポーツ栄養士 参加者の声 よりスポーツ選手や運動する人の役に立ちたいと思った。	成長期に多いスポーツ障害について ～整形外科の立場から～  渡邊 和之氏 福島県立医科大学 / JSPO公認スポーツドクター 参加者の声 子ども達の将来を見据えて、スポーツ障害を知ることが大変重要だと思った。	スポーツ選手を支えるアスレティックトレーナーの役割  菅野 秀二郎氏 やんべ整形外科クリニック / JSPO公認アスレティックトレーナー 参加者の声 チームでの役割や自分にできることを理解できた。その競技のルールについて学ぶ必要があるということを知った。
運動による持久力と骨格筋の代謝機能の適応 ～運動生理学～  諏訪 雅貴氏 郡山女子大学 参加者の声 運動中の血糖値の変化が興味深かった。糖質を枯渇させない重要性を理解した。	スポーツ栄養士の現場から ～自転車競技～  高萩 多香野氏 JSPO公認スポーツ栄養士 参加者の声 競技ルールを理解していないと、適切な栄養指導ができないことを学んだ。各々に合う食事、合わない食事があり、それに対応する必要があることを学んだ。	情報交換会  酒井 有理子氏 県スポーツ協会スポーツ栄養士部会副会長 参加者の声 有益な情報を得ることができた。多職種の仲間に出会えてよかった！

活動の様子



今回の講習会を通して、受講された皆様が、多くのアスリートやスポーツを愛好する方々の夢を支え、福島県のスポーツを力強く推進する存在として活躍されることを期待しています。



認定アスレティックトレーナー養成講習会

スポーツ医事・トレーニング相談事業の講師、競技者・スポーツ愛好者の健康管理、傷害予防、スポーツ外傷・障害の救急処置、アスレティックリハビリテーション及びトレーニング、コンディショニング等を担当する福島県スポーツ協会認定アスレティックトレーナーの養成を目的として、隔年で開催しています。

カリキュラム

1 基礎科目(個人学習)

- ⑦ 公益財団法人日本スポーツ協会公認指導者養成講習会「スポーツコーチングリーダー」
- ⑧ 救急法講習

2 専門科目(集合講習会)

1日目 11月31日(土) 福島県青少年会館

- 渡邊 和之氏(県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)「人体の解剖と機能」
- 嶋原 智彦氏(県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)「アスレティックトレーナーの役割」
- 吉田 勝浩氏(県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)「スポーツ医学概論」
- 會澤 寿氏(JSPO公認アスレティックトレーナー)「コンディショニング実技」

2日目 12月1日(日) 福島県青少年会館

- 堀川 哲男氏(県スポーツ協会スポーツ医・科学委員長)「安全・健康管理とスポーツ外傷・障害の予防」
- 中澤 謙氏(県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)「スポーツ科学概論」
- 菅野秀二郎氏(JSPO公認アスレティックトレーナー)「検査・測定と評価」
- 服部 和彦氏(県スポーツ協会スポーツ医・科学委員)「リコンディショニング」



堀川哲男委員長

渡邊和之部会長

嶋原智彦副部会長

本講習会は日本スポーツ協会の公認アスレティックトレーナー養成講習会のカリキュラムを参考に講座を設定し、本協会スポーツ医・科学委員や公認スポーツ指導者を講師にお招きして開催しました。本年度は18名が専門科目を受講し、基礎科目を修了することで福島県スポーツ協会認定アスレティックトレーナーに認定となります。今後、アスレティックトレーナー部会の活動やスポーツ医事・トレーニング相談事業、各種研修会等、本県の競技力向上や生涯スポーツの推進事業等で御活躍いただきたいと思います。

活動の様子





福島県総合型 地域スポーツクラブ連絡協議会

福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会とは

福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会(県協議会)は、県内で活動する総合型クラブの定着・発展を促進するため、その円滑な運営に資する情報交換や交流の活性化を図ることを目的として設立された公益財団法人福島県スポーツ協会組織内組織です。

福島県で設立されている総合型クラブの内、登録・認証制度に登録された42の総合型クラブによって構成されています。

県協議会は、地域区分ごとに地区連絡協議会が結成されており、「スポーツを核とした豊かなコミュニティの創造」を基本理念として活動しています。

公益財団法人日本スポーツ協会総合型地域スポーツクラブ全国協議会 令和6年度 県内総合型地域スポーツクラブ 登録クラブ一覧

No	クラブ名	市区町村	地区	No	クラブ名	市区町村	地区
1	あだちスポーツクラブ	二本松市	県北	22	謹教スポーツクラブ	会津若松市	会津
2	一般社団法人いわしろふれあいスポーツクラブ	二本松市		23	特定非営利活動法人ひめさゆりくらぶ	喜多方市	
3	一般社団法人にほんまつ城山クラブ	二本松市		24	やまとスポーツクラブ	喜多方市	
4	岳クラブ	二本松市		25	特定非営利活動法人スポーツクラブバンビィ	会津坂下町	
5	東和さわやかスポーツクラブ	二本松市		26	特定非営利活動法人赤べこトータルスポーツ	柳津町	
6	特定非営利活動法人生涯学習プロジェクトもとみや [もとみやスポーツネットワーク]	本宮市		27	特定非営利活動法人会津美里クラブ衆	会津美里町	
7	NPO法人かわまたスポーツクラブ	川俣町	県中	28	特定非営利活動法人ただみコミュニティクラブ	只見町	南会津
8	Vivakids スポーツクラブ	郡山市		29	NPO法人ひのきスポーツクラブ	南会津町	
9	滝根いきいきクラブ	田村市		30	NPO法人そうま中央スポーツクラブ	相馬市	相双
10	特定非営利活動法人かがみいしスポーツクラブ	鏡石町		31	浮舟うきうきクラブ	南相馬市	
11	特定非営利活動法人たまかわ元気スポーツクラブ	玉川村		32	NPO法人はらまちクラブ	南相馬市	
12	ひらたスポーツクラブ	平田村		33	太田大獲スポーツクラブ	南相馬市	
13	総合型地域スポーツクラブ「仲間」	白河市	県南	34	特定非営利活動法人かしま元気スポーツクラブ	南相馬市	
14	特定非営利活動法人チーム青い空	白河市		35	NPO法人広野みかんクラブ	広野町	いわき
15	21' スポーツクラブ in しらかわ	白河市		36	一般社団法人榎葉町スポーツ協会	榎葉町	
16	NPO法人西の郷スポーツクラブ	西郷村		37	公益社団法人富岡町さくら文化・スポーツ振興公社	富岡町	
17	矢吹スポーツクラブ	矢吹町		38	いいたてスポーツクラブ	飯館村	
18	棚倉スポーツクラブ	棚倉町		39	総合型地域スポーツクラブ 泉クラブ	いわき市	
19	特定非営利活動法人はなわスポーツクラブ	塙町		40	特定非営利活動法人いわき・あいスポねっと	いわき市	
20	特定非営利活動法人さめがわスポーツクラブ	鮫川村		41	特定非営利活動法人いわきクラブ	いわき市	
21	きたあいづスポーツクラブ	会津若松市	会津	42	認定NPO法人いわきFスポーツクラブ	いわき市	

※地区ごと、地方公共団体コード順に掲載

令和7年度の登録期間は、令和7年4月1日から令和8年3月31日となります。
令和7年度登録クラブ一覧は右のQRコードから確認できます。(令和7年4月更新予定)



福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 交流会事業

探索ウォークラリー



「山都の景観と食探訪」 探索ウォークラリー

山都町にある様々な場所をチームに分かれて散策しながら歩きます。楽しく歩きながら町の文化や自然を発見できるプログラムです。多くのチェックポイントを回るほど高得点が期待できます！
新そばの時期を迎える山都町をウォーキングしながら交流を図りましょう！

○期 日 令和6年10月18日(金) 10:00 受付開始
○集 合 山都町公民館
住所: 福島県喜多方市山都町広中新田1167
○参加者 福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 関係者
○参加費 無 料
○持ち物 動きやすい服装、タオル、飲み物 携帯電話(デジタルカメラ)
○日 程 10:00~10:15 受付
10:15~10:30 開会行事・競技説明
10:30~13:30 ウォークラリー
13:30~14:00 集 計
14:00~14:20 表彰・閉会式
14:30 解散
○申 込 参加申込書に必要事項を記入のうえ、10月4日(金)まで
メールまたはFAXでお申し込みください。
お申し込み・お問い合わせ: NPO法人かがみいしスポーツクラブ
TEL: 0248-62-1600 FAX: 0248-62-7651
メール: info@kagamiishi-sc.com

主催: (公財) 福島県スポーツ協会 福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

令和6年度の交流事業は、会津地区の喜多方市山都町において、山都町の景観と食に触れながら探索する「探索ウォークラリー」を実施し、県内各地の加盟クラブから42名が参加しました。

山都町の各所にチェックポイントが設置され、各チェックポイントには得点が決めてられており、得点が高いチェックポイントを多く回ると高得点を取ることができます。参加者は4・5名のチームに分かれ、配られた地図を見て作戦を立てながら自由に探索しました。探索時間内にはチームごとに昼食を摂り、新そばの時期を迎える山都町の「食」にも触れました。

上位のチームには山都町の特産品が賞品として授与されました。今まで実施したことがない内容の交流事業でしたが、探索を楽しみながら情報交換や交流を図り、皆さんが楽しめる交流会となりました。

次回以降も参加した皆さんが楽しみ、各クラブの活動に活かせるような事業を計画・実施していきたいと思います。

交流会の様子



福島県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会(公益財団法人福島県スポーツ協会内 事務局)

〒960-8043 福島市中町8番2号 福島県自治会館6階
TEL: 024-573-2655 FAX: 024-573-2699
E-mail: sc@sports-fukushima.or.jp HP: <https://www.sports-fukushima.or.jp/koiki/>



持続可能なクラブ運営の 実現に向けたスポーツ

人材育成 セミナー



総合型地域スポーツクラブを取り巻く環境は日々変化しており、その中で持続可能なクラブにしていくために、各クラブでは色々な工夫をしながら運営を行っています。

今年度は、福島大学人間発達文化学類地域スポーツ政策研究所所長の蓮沼哲哉氏を講師として、クラブ運営に必要な「人材の確保・育成」をテーマに講演とグループワークを交えた研修会を実施しました。

少子化による人口減少が進行していく中で、スポーツを活用し魅力ある地域づくりをしていくためには、スポーツ人材の育成と効果的な活用が重要であるということを学びました。

参加者の皆さんにとっては、自らが所属している総合型地域スポーツクラブの現状や課題を照らし合わせながら他クラブの方々と話し合うことで、今後のよりよいクラブ運営について考えるよい機会になったのではないかと思います。

研修会の様子



- もっと早くに今回の講義を受けたかった。地域スポーツ振興のための取り組みに関して今よりも良いアプローチが出来ていたのではないかと感じた。今後へ向けてとても有意義な研修会となった。
- 講義を受ける前は「3時間の研修は長い！」と思っていたが、終了後は「3時間では足りない！」と感じるぐらい充実した研修会だった。
- 先を見据えた人材育成や確保が地域を活性化させていくうえで重要な取り組みの一つであると再確認することができた。

参加者の声

公認アシスタントマネジャー養成講習会

8月24日(土)・25日(日)の両日、福島テルサにて公認アシスタントマネジャー養成講習会を開催しました。「地域スポーツの活性化に向け、総合型地域スポーツクラブの創設・育成を推進するため、クラブの運営を担うクラブマネジャーの養成及び資質の向上を図る」ことを目的とし、13名の受講者が参加しました。

アシスタントマネジャーの役割とは…

総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブ運営のための諸活動をサポートする。

1日目は、福島県における総合型地域スポーツクラブの概要や、クラブを取り巻く環境の変化等への理解、先進的な取り組みをしている県外の総合型クラブの活動事例の紹介、クラブの安定した運営面で欠かすことのできない新規会員獲得のための運営について等、具体的な運営について深く学びました。

2日目は、クラブ設立の発展、安定には欠かせない法人格取得について、県内で活躍している総合型クラブの活動事例の紹介、また、グループワークでは、クラブづくりについて話し合い、地域のニーズに合ったクラブづくりが大切であると学びました。



受講者の声

講師のみなさんが気さくでもしろかった。

他の講習会では聞くことができない内容だったので受講できてとてもよかった。今後の人生に役立てたい。

「人を動かすには自分から」という信念をもって、本講習会での経験を次の人に伝達していきたいと思った。

グループワークがあって他の参加者と仲良く交流することができてよかった。

総合型地域スポーツクラブの現状や登録・認証制度の仕組みについて理解できた。

各地域ごとのクラブの作り方に個性があって興味深く感じた。

クラブマネジャー講話から、クラブ設立時の思いやこれまでの苦勞、現在の課題など貴重な話を聞くことができた。どんなことを考えてクラブ設立に向けて動いていけばよいか少し見えてきた。



2日間の講習会を通して、地域スポーツに関わる総合型地域スポーツクラブ運営への理解を深め、よりよいクラブづくりの実践に向けた知識を得ることが出来ました。受講者の皆様におかれましては、本講習会で学んだことを実際のクラブ運営等に生かしていただくとともに、ぜひとも日本スポーツ協会公認クラブマネジャーの資格取得も目指していただきたいと思います。



令和6年度、福島県スポーツ協会では、スポーツ振興くじ助成事業(クラブアドバイザー配置事業)を受け、クラブアドバイザー1名を配置し、県内の総合型地域スポーツクラブに対し指導助言、啓発活動等を行っています。



《 令和6年度福島県スポーツ少年団の登録状況 》

登録団数	指導者数	役員数	スタッフ数	団員数計
822団	2,543名	563名	2,294名	17,254名

◇男子

幼 児	～小3	小4～小6	中学生	高校生以上	計
70名	2,551名	6,158名	2,358名	148名	11,285名

◇女子

幼 児	～小3	小4～小6	中学生	高校生以上	計
53名	1,465名	3,028名	1,302名	121名	5,969名

令和6年度 福島県スポーツ少年団表彰

◇功労者(5名)

No.	支部	氏 名	所属団体名
1	県北	山川 文明	笹谷剣友会スポーツ少年団
2	県北	大藤 務	二本松卓研スポーツ少年団
3	県中	坂本 孝夫	郡山ジュニアソフトテニススポーツ少年団
4	県南	佐藤 明男	白河柔道スポーツ少年団
5	会津	五十島真仁	城西スキースポーツ少年団

◇優良団体(3団体)

No.	支部	団体名	市町村
1	県北	吉井田ミニバスケットボールスポーツ少年団	福島市
2	県北	野田ミニバスケットボールスポーツ少年団	福島市
3	県南	大信スポーツ少年団	白河市

令和6年度 日本スポーツ少年団顕彰

◇表彰登録指導者(2名)

No.	支部	氏 名	所属団体名
1	県北	堀内田海雄	六華ミニバスケットボールスポーツ少年団
2	県中	五十嵐 浩	小山田富西ミニバスケットボールスポーツ少年団



受賞された方々

第46回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会

- ・期 日 令和6年8月1日(木)～4日(日)
- ・会 場 どちらきドラマチックパーク米子市民球場他
- ・出場団 にしのさとジャイアンツスポーツ少年団



第22回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会福島県推薦団

- ・期 日 令和6年12月27日(金)～30日(月)
- ・会 場 静岡県武道館他
- ・参加団 鎌田バレーボールスポーツ少年団

第47回全国スポーツ少年団剣道交流大会福島県推薦団

- ・期 日 令和7年3月28日(金)～30日(日)
- ・会 場 レゾナック武道スポーツセンター(大分県立武道スポーツセンター)
- ・参加団 鎌田剣道スポーツ少年団

JFA第48回全日本U-12サッカー選手権大会

- ・期 日 令和6年12月26日(木)～29日(日)
- ・会 場 鹿児島県ふれあいスポーツランド他
- ・出場団 バンディッツいわきジュニア



《 令和6年度 福島県スポーツ少年団ジュニア・リーダースクール 》



〈県中支部 12/14(土)・15(日) 郡山市青少年会館〉



〈県南支部 7/23(火)・24(水) 那須甲子青少年自然の家〉



〈いわき支部 8/7(水)・9(金) いわき海浜自然の家〉



〈会津支部 11/2(土)・3(日) 国立磐梯青少年交流の家〉

スポーツ少年団指導者の資格について



1 2019年度、認定員・認定育成員をお持ちだった方

スポーツコーチングリーダー
に資格移行手続きを

する 初期手数料3,300円
資格登録料10,000/4年間

理念を学んだ指導者

し ない

R7年度は役員・スタッフ

2 2019年度までに認定員または認定育成員をもち、かつJSPO公認スポーツ指導者

〔競技別〕をお持ちの方資格

資格を継続して保有していれば、理念を学んだ指導者として登録できます。
※資格移行手続きは必要ありません。

3 2019年度までに認定員または認定育成員をもち、かつサッカー・バスケットボール

C級以上をお持ちの方

資格を継続して保有していれば、理念ありの指導者として登録できます。
※資格移行手続きは必要ありません。

4 JSPO公認スポーツ指導者資格(競技別)のみをお持ちの方

スタートコーチ
(ジュニア・ユース)養成講習会を

受講修了し、資格を得る
初期手数料3,300円

理念を学んだ指導者

受講しない

指 導 者

継続する場合は更新研修会の受講が必要となります

令和7年1月現在

チャリティー情報

チャリティーゴルフコンペを開催しました！

趣 旨 ゴルフをととして加盟競技団体やスポーツ関係者との親睦を図り、併せて競技力向上関係のチャリティー活動とする。また、競技に直接関わっている方々の率直な意見の交換と慰労を兼ねて開催する。

主 催 公益財団法人福島県スポーツ協会

後 援 福島県ゴルフ連盟

期 日 令和6年11月23日(土・祝日)

会 場 大玉カントリークラブ



チャリティーボウリングを開催しました！

趣 旨 ボウリングをととして加盟競技団体やスポーツ関係者との親睦を図り、併せて競技力向上関係のチャリティー活動とする。また、競技に直接関わっている方々の率直な意見の交換と慰労を兼ねて開催する。

主 催 公益財団法人福島県スポーツ協会

主 管 福島県ボウリング連盟

期 日 令和7年2月8日(土) 13時00分 開始式

会 場 福島オークラボウル



チャリティーポロシャツを販売しています！



感を高め、福島県のスポーツを盛り上げましょう!!

なお、収益は、本協会におけるスポーツ振興事業のための一助とさせていただきます。注文や詳細については、QRコードをご覧ください。

ご愛用者の声

小学校が終わってから通っている放課後児童クラブで、毎日このチャリティーポロシャツを着ています。着心地がとても良いです！
(福島市 小5)



公益財団法人福島県スポーツ協会賛助会員名簿

《法人・団体特別会員》

会津商工信用組合 あぶくま信用金庫 (株)いちい いわき信用組合 (株)インフォメーション・ネット ワーク福島 エクセルツリー(株) (株)岡部 (株)オノヤスポーツ (有)カネチョウ坂本商店 (株)環境分析研究所 (株)久野製作所 クリナップ(株)いわき事業所	クリヤマジャパン(株) (株)クリーンテック (特非) J DMA (医)須賀川セントラル眼科 住友ゴム工業(株)白河工場 (株)セントラル住設 相双五城信用組合 (株)大東銀行 (株)ダイユーエイト (一財)竹田健康財団 (株)テレビユー福島 東亜道路工業(株)福島営業所 (株)東邦銀行	東北建設(株) (株)トヨタレンタリース福島 日本全業工業(株) (株)二丸屋山口商店 (株)ハニーズホールディングス (株)福島銀行 福島県議会スポーツ振興議員連盟 福島県ゴルフ連盟 福島県商工信用組合 福島県信用保証協会 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合 (株)福島中央テレビ 福島テレビ(株)	福島トヨタ自動車(株) (株)福島放送 (一財)ふくしま未来研究会 (株)福島民報社 福島民友新聞社 福浜大一建設(株) 公立藤田総合病院 (株)マルト (株)民報印刷 山木工業(株) (株)ヨークベニマル 若松測量設計(株)
---	---	---	--

《法人・団体会員》

(株)会津技研 (株)明石スクールユニフォームカンパニー (株)アクセラ (有)吾妻印刷 (株)アポロガス (株)安藤組 石川建設工業(株) 磐城通運(株) (株)ウェディングエルティ 内地醸造(株) (株)海老名建設 FSGカレッジリーグ (株)エフエム福島 (株)エムケーテック (有)エンドースクリーン (有)大波商店 (一財)大原記念財団 小名浜製錬(株)小名浜製錬所 (株)加地和組 菅野建設(株) (株)絹川建設工業 キョウワセキュリティオン(株) キング印刷(株) (株)キスキ (株)グラコム (株)クラロン	(株)グレイス福島 (株)クレハ (株)クレハ環境 クレハ建設(株) (株)幸楽苑ホールディングス 小勝左官工業(株) 後藤建設工業(株) さかい動物病院 (株)佐藤商事 (有)佐平 (有)三共印刷所 (株)サンライト 庄司建設工業(株) スポーツメンタルトレーニング (株)セイユー建設 関場建設(株) (株)善邦 (福)創世福祉事業団 (株)相双緑化土木 第一温調工業(株) 大宝建設(株) 大邦産業(株) (株)高橋建設 タカラ印刷(株) 月電工業(株) 月電ソフトウェア(株)	東栄物産(株) 東信建設(株) (株)東武 東北索道協会福島地区部会 (株)東北装美 T&C Lab. (株)中里工務店 日産プリンス福島販売(株) (株)NIPPO福島統括事業所 原町港湾運送(株) 東日本テクノレッジ(株) (有)挽野自動車 ファーストヘルステック(株) (株)ファミリーケア 福島県剣道連盟 福島県信用金庫協会 福島県ダンススポーツ連盟 福島県バウンドテニス協会 福島県南土建工業(株) (有)フクシマスポートランド (株)福島製作所 福島日産自動車(株) 福島訪問歯科医院 福島ヤクルト販売(株) ふくしま陸上スポーツ少年団 福島リコピー(株)	(株)福南電気 (株)フジゴルフガーデン (株)藤野 (有)古川瓦建材 北斗印刷(株) 堀江工業(株) (株)マルコ物流 丸三製紙株式会社 (株)丸福織物 (株)丸や運送 みずの内科クリニック (株)三宅新聞店 名鉄観光サービス(株)福島支店 (株)メディア・ネットワーク (株)本宮会計センター (株)ヤスタ創建 (株)山口工芸 (株)やまと印刷 山本商事(株) (株)友愛 (株)ラジオ福島 (株)ル・プロジェ ワイザーエル(株) ワタナベカーペット(株)
---	---	---	---

※他に匿名希望6法人・団体

《個人 特別会員》

壺 岐 ひろみ 菊 池 信太郎 北 村 清 士 須 佐 喜 夫 宗 形 守 敏

《個人 会員》

穂 本 哲 哉 鶴 沼 秀 雄 小 松 信 之 柴 野 照 夫 中 上 徹 星 星 本 薫 米 沢 修 志 阿 部 正 美 遠 藤 均 小 山 太 郎 下 山 好 宏 中 島 茂 典 星 星 本 薫 米 沢 修 志 阿 部 正 美 遠 藤 均 小 山 太 郎 下 山 好 宏 中 島 茂 典 星 星 本 薫 米 沢 修 志 阿 部 正 美 遠 藤 均 小 山 太 郎 下 山 好 宏 中 島 茂 典 星 星 本 薫 米 沢 修 志 阿 部 正 美 遠 藤 均 小 山 太 郎 下 山 好 宏 中 島 茂 典 星 星 本 薫 米 沢 修 志 阿 部 正 美 遠 藤 均 小 山 太 郎 下 山 好 宏 中 島 茂 典 星 星 本 薫 米 沢 修 志 阿 部 正 美 遠 藤 均 小 山 太 郎 下 山 好 宏 中 島 茂 典 星 星 本 薫 米 沢 修 志 阿 部 正 美 遠 藤 均 小 山 太 郎 下 山 好 宏 中 島 茂 典 星 星 本 薫 米 沢 修 志 阿 部 正 美 遠 藤 均 小 山 太 郎 下 山 好 宏 中 島 茂 典 星 星 本 薫 米 沢 修 志 阿 部 正 美 遠 藤 均 小 山 太 郎 下 山 好 宏 中 島 茂 典 星 星 本 薫 米 沢 修 志
--

(令和7年1月22日現在) (敬称略 五十音順)

賛助会員加入のお願い

本協会では、本県スポーツ振興を目的とする事業に御賛同いただける賛助会員を年間を通して募集しております。

福島県民の皆様、本協会を応援いただける全国の皆様、ぜひ賛助会員として加入され、御支援を賜りますようお願いいたします。

賛助会費(年会費)

- 個人賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
- 法人・団体賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。

詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。
<https://www.sports-fukushima.or.jp>

問 合 せ

〒960-8043 福島市中町8番2号
福島県自治会館6階
公益財団法人福島県スポーツ協会
電 話 024(521)7896
FAX 024(521)7971
E-mail
info@sports-fukushima.or.jp

編集 後記

第78回国民スポーツ大会では、軟式野球、弓道の長年の悲願達成といえる優勝、ウエイトリフティング、陸上競技での日本記録樹立など数々のドラマを生み出し、福島県のスポーツ史に新たな1ページが刻まれました。チームふくしまの活躍は、スポーツの力で私たちに勇気と感動を与えてくれました。

生涯スポーツ分野では、スポーツ医事・トレーニング相談事業を多くの団体の方々に活用していただくことで、安全で安心してスポーツ活動を楽しめる環境づくりを推進してまいりました。

そして、いよいよ今年は東京2025デフリンピックが開催されます。Jヴィレッジでのサッカー競技は、スポーツを通じて世界へ福島の魅力を発信する絶好の機会です。今後も、Instagramをはじめとした様々な媒体を通じて最新情報を発信し、皆様と共にスポーツの力で福島を盛り上げていけるよう努力してまいります。引き続き、御理解と御協力をお願いいたします。



©JDFA

きこえない・きこえにくい人の**オリンピック**

デフリンピックを 見逃すな。

TOKYO 2025 DEAFLYMPICS

2025.11.14 ▶ 25

福島県

Jヴィレッジで サッカー競技開催

**観戦
無料**

デフリンピックとは？

デフ(Deaf)とは英語で「耳がきこえない」という意味。デフリンピックはきこえない・きこえにくい人のオリンピックです。2025年、東京都をメイン会場に、70~80か国・地域から約3,000人の選手が来日し、競い合います。2025年の大会は、**国内初開催**であり、初回のデフリンピックから、**100周年を迎える記念すべき大会**となります。

東京2025デフリンピック概要

日程 2025年11月15日~26日 ※サッカー競技は2025年11月14日~25日

種目 21競技 陸上 / バドミントン / バスケットボール / ビーチバレーボール / ボウリング / 自転車(ロード) / 自転車(MTB) / サッカー / ゴルフ / ハンドボール / 柔道 / 空手 / オリエンテーリング / 射撃 / 水泳 / 卓球 / テコンドー / テニス / バレーボール / レスリング(フリースタイル) / レスリング(グレコローマン)

会場 東京都、福島県(サッカー競技)、静岡県(自転車競技)



詳しくは福島県スポーツ課のホームページをご覧ください ▶